

地域とともにある学校づくり  
ふるさと  
探究学習  
ishitokyo  
まちの未来

令和5年度

西東京ふるさと探究学習

実践事例集

西東京市立小・中学校



# 令和5年度 西東京ふるさと探究学習 実践事例集

## 目次

田無小学校	1年	だいすき たなししょう……………	1
田無小学校わかば学級	2年	教えて畑の先生！～季節の野菜を育てよう～……………	2
田無小学校	5年	田無大作戦！！～田無をよりよいまちにしよう～……………	3
保谷小学校	2年	えがおのひみつたんけんたい……………	4
保谷小学校	3年	ビオトープたんけんたい ～生き物が住む保谷小学校自慢のビオトープを作ろう～……………	5
保谷第一小学校	3年	発見！地いきの自まん……………	6
保谷第一小学校	4年	私たちの未来を守るために～学校でできるSDGs～……………	7
保谷第二小学校	6年	柳沢の街の魅力をプロデュース！……………	8
保谷第二小学校	5年	平和を願い、そしてうたう……………	9
谷戸小学校	4年	地域のよさを見つけよう……………	10
東伏見小学校	5年	下野谷PR大使になろう……………	11
東伏見小学校	6年	わが町東伏見……………	12
中原小学校	3年	ひばりが丘大研究……………	13
向台小学校	1年	わくわく ときどき むこうだい小学校……………	15
向台小学校	2年	えがおのひみつたんけんたい……………	16
碧山小学校	4年	調べよう、育てよう、活用しよう 「碧山小学校藍染プロジェクト！」……………	17
芝久保小学校	2年	えがおのひみつたんけんたい……………	20
芝久保小学校	4年	住みやすいまちづくり（みんながくらしやすい社会をつくろう）……………	21
栄小学校	3年	わたしたちの町、みりよく発見……………	22
栄小学校	6年	よりよい西東京プロジェクト～私たちにできること～……………	23
谷戸第二小学校	3年	知らなかったね、西東京……………	24
谷戸第二小学校	4年	西東京をくらしやすい町に……………	25
谷戸第二小学校	6年	世界の手助けプロジェクト……………	26
東小学校	4年	様々な人々と共に生きる……………	27
東小学校	6年	目指せ！防災リーダー……………	28

柳沢小学校	3年	西東京市の野菜と仲良くなろう ……………	29
上向台小学校	1年	きせつとなかよし あき～あきはかせになろう～……………	30
本町小学校	3年	やぎさわ北口商店がいを知ろう ……………	31
本町小学校	5年	食べる事とは?～食について考えよう～……………	32
住吉小学校	5年	西東京市から世界へ ……………	33
けやき小学校	5年	わたしたちの地球 ……………	34
けやき小学校	6年	自分の将来を見つめよう (キャリア) ……………	35
田無第一中学校	1年	西東京を知る 「トレジャーハンター」の取り組みを通して ……………	36
田無第一中学校	2年	住んでいる街(西東京市)を知る。理解を深める。関わる。……………	37
田無第一中学校	3年	西東京の未来を創る ……………	39
保谷中学校	2年	保谷中の魅力が伝わるパンフレット (学校案内) づくり ……………	40
保谷中学校	3年	西東京を誰もが住みやすい街にするために、 できることを考えてみよう ……………	41
田無第二中学校	1年	職業座談会/地域の方から仕事について学ぶ……………	43
田無第二中学校	1年	農業体験/西東京市の近郊農家で体験作業……………	44
ひばりが丘中学校	2年	職場体験 ……………	45
田無第三中学校	2年	職場体験 ……………	46
青嵐中学校	1年	西東京市校外学習 ……………	47
柳沢中学校	1年	校外学習「市内巡り」 ……………	48
田無第四中学校	2年	職場体験 ……………	49
明保中学校	1年	西東京市 活性化プロジェクト……………	50
明保中学校	2年	かりんとう販売促進プロジェクト……………	55

令和5年度

地域とともにある学校づくり

コミュニティ・スクールの充実

田無小学校 1年生

# 西東京ふるさと探究学習

単元名： だいすき たなししょう  
(活動名)

ねらい：

- ・自分たちの生活を支えてくれている人々について知り、田無小学校や田無小学校で働いている人々に親しみや愛着をもてるようにする。
- ・学校で働いている人々と自分との関わりを見付け、学校生活を支えている人々のことが分かるとともに、楽しく安心して遊びや生活をするができるようにする。



【10月6日】

学校で働いている人について、知っていることを話し合いました。意外と知らないことが多いことに気付きました。



【10月18日】

学校で働いている人にインタビューに行きました。役割や働きを理解することができました。



【10月24日】

お仕事体験をさせていただきました。

この後、これまでの活動で分かったことをポスターにまとめ、お仕事をしている部屋の前に貼ってもらいました。クラスで発表会もしました。

【12月2日】

学習発表会で学校のみんなや保護者の方々にも、分かったことを伝えました。



## まとめ コラム

様々な活動を通して、自分たちの学校生活を支えてくれている人がたくさんいることが分かり、感謝の気持ちをもつことができました。特に、お仕事体験では、一緒にお仕事をさせていただくことで、インタビューだけでは分からなかった、働いている方々の思いや苦勞を知ることができました。これからも、色々な方と交流しながら、楽しく学校生活を送れるようにしていきます。

令和5年度

地域とともにある学校づくり

コミュニティ・スクールの充実

田無小学校 わかば学級2年

# 西東京ふるさと探究学習

単元名： 教えて畑の先生！～季節の野菜を育てよう～  
(活動名)

- ねらい：
- ・西東京市の農家の方と野菜を育てる活動を通して、季節の野菜を育てるために必要な技能を身に付けることができる。
  - ・季節の野菜を育てる活動を通して、自分が感じたことや気付いたことを表現することができる。
  - ・西東京市の農家の方と野菜を育てる活動の中で、食に関心をもち意欲的に学ぼうとする態度を養うことができる。



【9月4日】

栄養士の先生に旬の野菜について教えてもらう。給食の野菜が、地元の地域で作られていることを知る。



【9月7日】

地域の農家の方（畑の先生）に、土づくりを教えてもらう。野菜に適した土があることを体験的に学ぶ。



【9月12日】

学校の畑で、苗植え、種まきを行う。野菜を育てるための道具や機械を実際に使って、農家の方が行っている作業を体験する。



【10月26日】

地域の農家を訪問して、自分たちが給食で食べている野菜が育っている畑を見学する。農家の方にインタビューを行う。

## まとめ コラム

- ・市内の農家の方をゲストティーチャーとして招いて一緒に活動する中で、多くの児童が「野菜作りについて知りたい」、「活動内容を伝えたい」と具体的な気持ちを表現していた。
- ・地域の農家の方と同じ野菜を学校の畑で育てることにより、気付いたことを質問して、すぐに活かすことができ、学びを深めることができた。

令和5年度

地域とともにある学校づくり

コミュニティ・スクールの充実

田無小学校 5年生

# 西東京ふるさと探究学習

単元名： 田無大作戦！！～田無をよりよいまちにしよう～  
(活動名)

- ねらい：
- ・田無のまちのよさや特色、課題について必要な情報を収集・整理・まとめることができる。
  - ・田無のまちをもっと住みやすいまちにすることについて自分なりの考えをもち、進んで表現しようとする。
  - ・自分たちの生活との関わりを考え、地域の一員としての自覚をもてるようにする。

【9月12日】

田無のよいところと課題を保護者の方々と一緒に考えました。これまでの生活を振り返りながら、付箋を貼りました。



【9月19日】

地域の方々から田無の歴史について学びました。有意義な時間を過ごすことができました。



【11月15日】

話し合い活動をしました。互いの意見を尊重しながら、田無のまちをよくするためのテーマを考えることができました。



【12月19日】

人との関わりが少ないという理由から、あいさつをして関わりを増やそうということであいさつキャンペーンを始めました。



## コラム

田無について表面的に知っている子どもはたくさんいたが、学習を行うことで、地域の一員として自分たちに何ができるかを主体的に考えることができた。そして、仲間の意見を聞いて、地域に対してのよりよい解決策を考え、実行することができた。

令和5年度

保谷小学校

地域とともにある学校づくり  
2年生

コミュニティ・スクールの充実

# 西東京ふるさと探究学習

単元名： えがおのひみつたんけんたい  
(活動名)

ねらい：

地域の多様な場所や人々に関わる活動や身近な人々と伝え合う活動を通して、地域の人々と自分たちの生活との関わりや公共物のよさや働きを捉え、身近な人々と関わるよさや楽しさが分かり、地域に親しみや愛着をもち、すすんで触れ合い交流することや適切に生活したり安全に生活したりすることができるようにする。



【6月23日】

町探検に行きました。事前に、地域のお気に入りの場所やお世話になっている人を紹介し合い、「じっさいに行ってみよう。調べてみたい」という興味や関心を高め、町探検の計画を立てました。自分たちの地域には、公園やエコプラザ、こもれびホールなどの公共施設や畑、果樹園、公園、消防署などがあり、これまで知らなかった場所や人々の存在に気づき、地域への理解を深めることができました。



【11月25日】

6月に行った町探検を振り返り、もっと知りたいことや行ってみたいこと、インタビューしてみたいことを話し合い、グループごとに探検に行く計画を立てました。保護者の方にもご協力していただき、10か所に分かれて町探検に行きました。働いている人の姿を観察したりインタビューしたりすることで、地域の方の工夫や思いに気づき、「これからお家の人といっしょに行ってみよう」「ありがとうを伝えたい」という声がたくさん聞かれました。

## まとめコラム

コロナ禍でここ数年できていなかった、グループごとの町探検を今年度は実現することができました。地域のお店、農園、公共施設の方々にご協力をお願いしたところ、快く受け入れて下さりました。お忙しい中、仕事の様子を見せていただき、子どもたちの質問に丁寧に答えていただき、ありがとうございました。子どもたちにとって、地域に愛着をもち、積極的に地域に関わろうとする思いを高めるいい学習になりました。

令和5年度

保谷小学校 3年生

地域とともにある学校づくり

コミュニティ・スクールの充実

# 西東京ふるさと探究学習

単元名： **ビオトープたんけんたい**～生き物が住む保谷小学校学校 自慢のビオトープを作ろう～  
(活動名)

ねらい： 保谷小のビオトープの生き物や植物に関する調査活動を行い、そこから課題を見出し、解決に必要な情報を収集し、目的に応じて比較・分類・関連付けて考える力や相手意識・目的意識を明確にして表現する力を育てるとともに、すすんで生き物や人々と関わったり、生き物が暮らしやすい環境に改善したりしようとする態度を育てる。

## 【1学期①】

まず、保谷小のビオトープを見に行きました。子どもたちには、「三角池」という愛称で親しまれているビオトープですが、生き物が少ないことや、草が生い茂っている状態を見て、「きれいにしたい。」「もっと生き物を増やしたい。」という感想をもちました。

そこでまずは、現在いる生き物や植物について調べてみることにしました。

## 【1学期②】

子どもたちは、ビオトープの生き物や植物について調べていく中で、保谷小のビオトープの環境に適した生き物や植物が生えていることが分かりました。生き物同士の食物連鎖の関係など深く情報を収集し、まとめ、分かったことを発表しました。

そして、今のビオトープの生態系を壊さずにどのような生き物を増やすことができるか考えていきました。

## 【2学期①】

子どもたちは次に、保谷小のビオトープのよさをもっとみんなにも伝えたいという気持ちをもちました。そこで、これまで調べてきた生き物や植物に関することやビオトープのよさについてスライドや新聞、ポスター、校内放送など自分が表現したい方法を選び、2年生や全校に伝えることにしました。



## 【3学期】

地域でビオトープに詳しい方がお手伝いくださることになり、ビオトープの掃除や手入れ、よりよい池のデザイン等を一緒に考えてくださることになりました。子どもたちは、ビオトープの先生との関わりを楽しんでいます。

## まとめ

昆虫などの生き物が好きな子どもたちだったこともあり、興味・関心をもって探究活動を行うことができました。地域の方との関わりの方では、なかなか人材が見つからず苦慮しましたが、その分、子どもたちは、自分たちで調べて情報を収集し、それを自分たちで発信していく力に繋がったと思います。

# 西東京ふるさと探究学習

単元名：「発見！地いきの自まん」  
(活動名)

- ねらい：
- ・保谷地域の良さをより深く知り、発信していくために、どんなことをどんな方法で調べるか考える。
  - ・タブレットや本からの情報収集、家族・地域の人へのインタビューをして調べる。
  - ・詳しく調べたり、実際に現地に行き地域の方々と話をしたりすることで、自分たちが住んでいるまちの良さを実感し、地域への愛着をもつ。



## 【1学期】

社会科の地域探検から、地域で安全に暮らすために必要なことを話し合い、安全マップを作りました。

「交通量が多い」「歩道がない」など、地域探検から危険な場所を見つけていました。



## 【2学期】

地域の自慢をもっと知るために「実際に話を聞きたい」と地域の方に取材をしました。

「知らないことがまだまだたくさんあった」と自分たちのまちの良さを改めて感じていました。



保谷生まれ保谷育ちの高橋前校長先生が  
ゲストティーチャーで登場



社会科見学では下野谷遺跡へ



公民館やお店に完成したポスターを掲示しました

## まとめ

「実は保谷地域で暮らしている人も、知らないことがたくさんあるのでは?」「自分たちのまちの良さをもっと知ってもらいたい」という子どもたちの素朴な「疑問」と「思い」から始まった地域の自慢調べ。「地域に発信する方法は?」「どうやって調べる?」自分たちで計画を立て、知恵を振り絞り、見学やインタビューに行くなど実際に足を運んで調べました。またインタビューを快く引き受けてくださった地域の方の優しさにも触れることができました。「こんなに良いところがあったんだ」「知れてよかった」など地域への愛着を深めることができました。

令和5年度

保谷第一小学校 4年生

地域とともにある学校づくり

コミュニティ・スクールの充実

# 西東京ふるさと探究学習

単元名：「私たちの未来を守るために」～学校でできるSDGs～  
(活動名)

- ねらい：
- ・学校でできるSDGsの取り組みを調べ、グループごとに計画を立てて取り組む。
  - ・SDGs目標12「つくる責任 つかう責任」の取り組みとして、自分たちでオリジナルのハンカチを作る。
  - ・地域の方々に協力してもらいながら、保谷の特産品である藍を育てたり、染め物体験をしたりすることで、地域への愛着をもつ。

【6月1日】



昨年度末から育てていた藍の苗。だいぶ大きく成長してきたので、学校の花壇に移植をしました。

愛情たっぷりに育てた藍です。子どもたちは「大きくなあれ。大きくなあれ。」と願いながら植え替えをしていました。



【9月4日】

夏休み中に大きく育った藍。この日はみんなで葉の刈取りをしました。

久しぶりに藍の葉を見た子どもたちは「えっ？これが藍なの？気が付かなかった！（笑）」と驚いていました。

【10月5日】

この日は待ちになった藍染体験。地域の方々のお手伝いもあり、大成功となりました！



<①前日には地域の方と染液の準備>

<②染液に入れるとまさかの緑色・・・>

<③開いてみたらきれいな藍色に！>

## まとめ

今年度も地域の方々のお力をお借りすることで、無事に藍染体験をすることができました。昨年度は屋敷林の花壇をお借りして育てていた藍ですが、今年度は学校の花壇で育てることで、より達成感を感じることができたようです。年間を通してSDGsに取り組んでいる4年生の子どもたちにとって、今回の体験はとて有意味なものになりました！3学期は～地域に広げるSDGs～として、今回学んだことを各家庭に還していく予定です。自分たちの育ったこの「保谷の地域」に貢献できる子どもたちに育っていつてくれることを願っています！

令和5年度

地域とともにある学校づくり

保谷第二小学校6年生

コミュニティ・スクールの充実

# 西東京ふるさと探究学習パッケージ

パッケージ：柳沢の街の魅力をプロデュース！

コンセプト：小学生も地域のチカラ

ねらい：働くこととはどんなことなのかを体験を通して学ぶとともに、地域の活性化のためにできることを実行する。

## ■探究单元④



### 保二小の花を地域に咲かせようプロジェクト [11~12月]

- ミニ職場体験でお世話になった柳沢北口商店街の活性化のため、商店街の利用客に、種から育てたパンジーをプレゼントした。
- 商店街のそれぞれの店舗のCMをカードにまとめ、一緒に配った。
- 商店街にある花壇にパンジーを植え、商店街のごみ拾いをした。
- CM宣伝部の児童は、FM西東京からラジオで宣伝を放送した。

## ■探究单元③



### こども議会 [9月]

- ミニ職場体験でお世話になった地域の商店や事業所のよさを話し合い、さらなる発展のためにできる工夫を提案する。
- 西東京市産業振興課の職員を招き、「こども議会」を開催して、地域の活性化のためのアイデアを提言した。
- 提言の内容を柳沢北口商店街に伝え、実現に向けて協議した。

## ■個別の探究



### 反転学習 [7~8月]

- 夏季休業中の家庭学習として、地域活性化のために、どんな前例があるか、タブレット型端末を用いた調べ学習を進めた。
- 調べ学習の成果は、以降の対話的な学習の基礎になった。
- 事前に、国語科の既習事項を踏まえつつ、西東京市図書館の職員を招いて、効率的な調べ学習について学んだ。

## ■探究单元②



### ミニ職場体験 [7月]

- ディーセント・ワーク学習を実践するために、柳沢北口商店街を含む近隣の25の商店や事業所で「ミニ職場体験」を実施した。
- さまざまな職域での体験を持ち寄り、働く人々の「働き甲斐」や働く「誇り」について気づきをまとめた。
- 地域の商店街の現状について、強みと課題をまとめた。

## ■探究单元①



### ディーセント・ワーク学習 [5学年11月]

- キャリア教育における「深い学び」を図るため、単なる職業調べではなく、「働き甲斐のある人間らしい仕事」とは何か考えた。
- 作家や編集者、デザイナー、法テラスの職員、指揮者、看護師、教育者、スポーツコーディネーターを招き、それぞれにとっての働く幸せについて、具体的にうかがった。

令和5年度

保谷第二小学校5年生

地域とともにある学校づくり

コミュニティ・スクールの充実

# 西東京ふるさと探究学習パッケージ

パッケージ：平和を願い、そしてうたう

コンセプト：小学生も世界のチカラ

ねらい：平和な世界のために、何が必要か、自分達に何ができるかを考え、具体的な行動に示す。

## ■学びの発信



### 平和のリング修復記念イベント(教育課程外) [2月]

- 西東京市の平和のリング修復記念イベントに有志が公式参加し、平和のうたを社会に向けて発信した。
- 児童は、不特定多数の聴衆に自分達の思いが伝わるように、事前に、独唱や間奏、ハミングを挿入し、曲の質を高めた。
- 「学びの連続性」による結果が、自己肯定感と達成感を高めた。

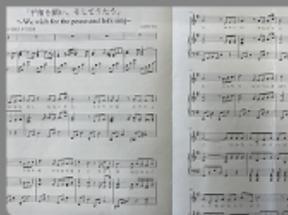
## ■探究単元④



### 平和交流会(総合的な学習の時間) [9月]

- ヒマワリの縁から、ウクライナ避難民運営食堂「Nadiya」の仲介で、避難者との交流会が実現した。
- 児童は、テーマごとに探究した日本文化の紹介を行った。避難者からウクライナのことを学び、給食のボルシチを共に味わった。
- 平和のうたのお披露目では、感極まって涙を流す児童もいた。

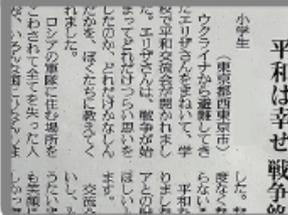
## ■探究単元③



### 平和のうたを届けよう(国語科) [9月]

- ロシアによるウクライナ侵攻を自分事としてとらえて、砲弾ではなく花束を、平和のうたをつくって贈ろうと考えた。
- 平和を願う俳句や短歌を詠んで、そこから言葉を選ぶ、協働的な活動を通し、合唱曲『平和を願い、そしてうたう』を作詞した。
- 詞に合わせて、教員が作曲し、さらに児童が構成を加えた。

## ■探究単元②



### 戦争と平和について考えよう(国語科) [9月]

- 国語科の単元「たずねびと」で、原子爆弾の惨禍について知り、戦争と、戦時下の人々の思いについて考え、新聞にまとめた。
- タブレット端末を用いた、自宅での「反転学習」により深めた。
- 昨年度から継続する新聞への投書を、戦争を題材に行い、1名が読売新聞に掲載された。

## ■探究単元①



### ヒマワリプロジェクト(特別活動) [5学年 6月]

- コミュニティ・スクールとして、花の栽培の地域拠点化を図り、全校で「花プロジェクト」を進めて、3年目となる。
- 第5学年の児童は、150の丸鉢で、ヒマワリを栽培するとともに、「花大使」として地域の事業所にヒマワリの苗を贈る「花外交」を進め、地域社会に広く認知されている。

# 西東京ふるさと探究学習

単元名： 地域のよさを見つけよう  
(活動名)

ねらい： 身近な自然に対して、興味関心をもち、意欲的に関わり地域の自然のよさを見つけることができる。

小学校における環境教育のねらい  
(参考：国立教育政策研究所)

③環境に働きかける実践力の育成  
(持続可能な社会の構築に向けて)

②環境に関する見方や考え方の育成  
(身近な環境での問題発見・解決による知識・技能の獲得)

**本単元の重点**  
(ふるさと探究学習)

①環境に対する豊かな感受性の育成  
身近な環境(自然的・社会的・文化的環境)に対して、興味関心をもち、意欲的に関わり、環境に対する豊かな感受性をもつことができる。

地域のよさ

単元の始めに、「地域のいいところはどこか？」というアンケートを児童に取った結果、自然が多いこと(田舎的な要素)や都会的な要素も、どちらも認識していることが分かりました。

谷戸小学校では、ふるさと探究学習を土台として、環境教育を位置づけ、一年間、総合的な学習として取り組みました。



11月21日(火)地域の緑調べ  
・自分たちの住む学区に緑(自然)がどのくらいあるのかを調べました。



### 大谷農園での大根作り体験

- ・9月19日(火)種まき
- ・10月17日(火)間引き
- ・12月5日(火)収穫
- ・農家の大谷さんにご指導いただきながら、一本2キログラムもある大根を収穫しました。



## まとめ

「地域の緑調べ」「大根作り体験」を通して、身近な自然に対する興味関心が深まりました。また、「自然がなくなってしまうたら生き物は生きていくことはできない」と感想をもつなど、自然と生き物のつながりにも目を向けることができました。

令和5年度

東伏見小学校

地域とともにある学校づくり  
5年生

コミュニティ・スクールの充実

# 西東京ふるさと探究学習

単元名：「下野谷 PR 大使になろう」  
(活動名)

ねらい：自分たちの住む町の下野谷遺跡について、現地調査やインタビュー、ネット検索等を活用して調べ、下野谷遺跡の魅力PR活動を通して、下野谷遺跡の保存に携わる人の思いや地域の願いに気づき、地域のために自分にできることを考えることができる。

【5月30日】



学芸員の方からお話を聞きながら、下野谷遺跡公園を見学した。復元された住居の下には本当の遺跡があることや当時の暮らしについて知った。

【6月26日】



下野谷遺跡のことを調べて分かったことを、ターゲット（1年生）に知らせる方法について企画書を作成し、内容を班で話し合った。

【7月18日】



自分たちが考えた企画の実行に向け準備をした。1年生を迎え、発表会をした。模型や紙芝居、クイズやミニゲーム等、工夫を凝らした発表だった。

【10月12日】



2学期は伝えたいターゲットを自分たちで決め、そのターゲットに合った伝え方を選択し、企画書を作成している。アドバイスをし合いながら活動している。

## コラム

下野谷遺跡公園の竪穴式住居が復元されたり整備されたりしたことをきっかけに、東伏見小学校の5年生は下野谷遺跡の魅力を再発見しました。まだ下野谷遺跡のことを知らない1年生をはじめ、家族や地域の人、新しく来た先生方にも知ってもらいたいという思いをもち、この活動をスタートしました。下野谷遺跡を学習することを通して、地域に愛着をもってもらいたいです。

令和5年度

東伏見小学校

地域とともにある学校づくり

6年生

コミュニティ・スクールの充実

# 西東京ふるさと探究学習

単元名： 「わが町東伏見」  
(活動名)

ねらい： 自分たちの住む町の魅力について、現地調査やインタビュー、ネット検索等を活用して調べる活動を通して、町に住む人の思いや地域の願いに気付き、町の魅力を向上させるために自分にできることを考えることができる。

【5月8日】

自分が住んでいる町について、インターネットで調べたり、みんなで情報交換をしたりしました。



【6月5日】

町の魅力について調べて分かったことを、タブレットのスライドにまとめ、グループや学級全体で交流しました。



【6月27日】

町の魅力をさらに向上させるためにできることを考え、クリーンアップ大作戦として、地域のごみ拾いをしました。意欲的に活動することができました。



【12月4日～8日】

町の魅力を向上させるための取組として、東伏見駅を彩るイルミネーション制作をしました。ミニ点灯式では、大きな歓声があがりました。



## コラム

自分たちが住んでいる地域、東伏見や富士見、柳沢の魅力について調べたり、話し合ったりする活動を通して、特産品やおすすめのイベントやお店など、町の魅力を再発見することができました。そして、町の魅力を向上させるためにできることを考え、1学期にはクリーンアップ大作戦として地域のごみ拾いをしたり、2学期には東伏見駅のイルミネーション制作をしたりするなど、主体的に取り組むことができました。

令和5年度

地域とともにある学校づくり

西東京市立中原小学校3年生

コミュニティ・スクールの充実

# 西東京ふるさと探究学習

単元名： ひばりが丘大研究  
(活動名)

ねらい：

- ・自分たちが住んでいる地域について理解を深め、地域の人の思いや願いに気付く。
- ・自分たちもひばりが丘に住む一員として地域に愛着をもって生活できるようにする。

【5月25日】



ひばりが丘の地名の由来はヒバリが多く飛んでいたことだと知る。いこいの森公園で地名の由来となったヒバリを探す。

【9月19日】



ひばりが丘団地の最初の入居者、中原小学校の開校時の最初の1年生だったの方に当時の話を聞く。

【10月3日・6日】



現在のひばりが丘団地の様子を見学し調べる。昔と今の様子を比べ、現在の課題を見付ける。



【10月27日】



古びた室内の様子から、自分たちにできることはないかと、53号棟(スターハウス)の破れた障子を張り替える活動を行う。

## コラム

普段何気なく通り過ぎていた建物が、保存・活用されている昔の団地だと知って驚いていた子どもたち。地域の方々には子どもたちを大切に思ってください、様々な活動も温かく受け入れてくださるので、今後子どもたちには地域の人や物との関わりや繋がりを大切に、この素敵な地域をもっと好きになってほしいです。



3年生は、「ひばりが丘大研究」をテーマに学習を進めています。この学習では、ひばりが丘の歴史や自然、建物を調べることやまちの人と関わりながら、自分たちが住んでいる地域について理解を深め、ひばりが丘の人々のまちや地域に対する思いや願いに気付くこと、また、自分たちもひばりが丘に住む一員として地域に愛着をもって生活していくことをねらいとしています。

1学期は、中原小学校の校章の由来から、ひばりが丘とひばりの関係について調べ学習を行いました。ひばりが丘という地名は、高度経済成長期にひばりか丘団地が建てられる際、ヒバリが多く飛んでいることから当時の田無神社の宮司であり田無町長であった賀陽氏によって「ひばりが丘」と命名されたということ調べました。そして、現在もヒバリがいるのかどうか、いこいの森公園に日本野鳥の会の方と一緒に調査に行きました。調べに行った時には、ヒバリは飛んでいませんでしたが、朝早く東大農場の上空にヒバリが飛んでいたことを野鳥の会の方に教えてもらいました。ヒバリは、小麦畑にたくさんいるそうですが、今では小麦畑も少なくなり、東京ではヒバリが減っているという現状を学びました。そのような現状を知り、ヒバリやそのほかの生き物も安心して暮らせる試みとして、中原小学校の校内の一部にも小麦畑を作りました。また、校内にビオトープも設置して、たくさんの生き物が住みやすい環境を作っています。今後もヒバリや多くの生き物も共存できるまちを作っていきたいと考えています。

2学期は、「ひばりが丘団地」に着目し、ひばりが丘団地はどのような団地だったのか、地域の人々がどのような思いや願いをもって暮らしてきたのかについて学習を進めています。当時、日本最初のマンモス団地として知られたひばりが丘団地は、昭和34年に入居が開始され、それにもなつて本校も開校しました。現在の上皇陛下(当時の皇太子明仁親王)が視察に来られた際のベランダの現物も保存されており、3棟の建物も活用されながら現存しています。ステンレスシステムキッチン、水洗トイレ、風呂、LDKの誕生など、ひばりが丘団地は、当時最先端のあこがれの団地であったことを学びました。しかし、中原小学校が建て替えられたのと同様に、ひばりが丘団地も老朽化により建て替えを余儀なくされました。現在は53号棟、94号棟、118号棟が歴史の継承として残されて活用されています。118号棟はリノベーションされ、人々が集まれるようにカフェや学習塾、ミーティングルームなどコミュニティスペースとして使用されています。94号棟もエレベーターが取り付けられ福祉施設として活躍しています。53号棟はパークヒルズの管理棟となっていますが、見学をしたときに内装がかなり痛んでいました。学習を通して現在の団地の課題を見付け、自分たちにできることはないかを考え、歴史ある貴重な文化財を守っていきたいという子どもたちの考えから、53号棟の障子の張替えをすることになりました。障子を張り替えることが初めての児童ばかりでしたが、障子の張り替え方を調べ挑戦しました。ほこりも汚れもたくさんありましたが、何十年も使ってもらうのだと丁寧に拭き掃除をし、糊を付け、障子紙を貼りました。「上手に張り替えられていますね。」と管理棟の方からお褒めの言葉をいただきました。

これからも歴史あるひばりが丘について理解を深め、子どもたちにとっては自分たちのふるさとになるであろう「ひばりが丘」を身近に感じ、素敵な地域に愛着をもって過ごしてもらえたらと思います。



令和5年度

向台小学校 1年生

地域とともにある学校づくり

コミュニティ・スクールの充実

# 西東京ふるさと探究学習

単元名： わくわく どきどき むこうだい小学校  
(活動名)

ねらい： 自分自身の生活や成長を振り返る活動を通して、自分の成長を支えてくれた人々について考えることがき、自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどがわかり、これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、成長への願いをもって、意欲的に生活できるようにする。



【1年2組】  
研究授業  
「えがおにここに  
大きくせん」

1学期の学校探検や2学期までに学んだこと、経験したことを思い出しながら、新しく入ってくる1年生を笑顔にするために伝えたいことを考えました。



【2月】  
幼稚園との交流会  
に向けた準備

地域の幼稚園との交流会に向け、各学級で準備をしました。新1年生に喜んでもらいたいという思いをもちながら、グループで協力して進めました。



【2月20日】  
幼稚園との交流会

地域の幼稚園と交流会を行いました。新しい1年生が笑顔で入学するために、学習のこと、生活のこと、行事のことなどを劇やクイズを交えながら伝えました。



【3月】  
2年生に向けて

幼稚園との交流会後、入学してからの自分の成長を振り返りました。2年生になったら頑張りたいことを伝え合うことで、自分のよさに気付き、進級への期待の気持ちを持ちました。

## まとめ

1学期に実施した学校探検を生かし、3学期は新1年生に学校のことを教える活動を実施しました。新1年生が安心して、楽しく学校生活を送るために知りたいことは何か考え、発表、交流しました。学習を通して、1年間の自分の成長を振り返り、2年生になることへの期待の気持ちをもつことができました。

令和5年度

地域とともにある学校づくり

コミュニティ・スクールの充実

向台小学校2年生

# 西東京ふるさと探究学習

単元名：  
(活動名)

えがおのひみつたんけんたい

ねらい：

お店や公共施設で働く人々との交流や、町について分かったことを伝える活動を通して、自分の住む地域に関心をもち、地域で生活したり働いたりしている人々と自分たちとの関りについて考え、自分の住む地域のよさに気付くことができるようにする。



【6月12日】

町探検に出かけ、町の様子を見たり、聞いたりしました。町について詳しくなり、もっと知りたいことが見つかりました。



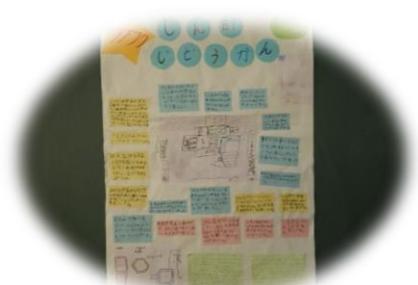
【10月26日】

お店や公共施設の中を探検しました。お店の様子やそこで働く人のことに詳しくなりました。



【11月8日】

お店や公共施設の中を見て、気が付いたことを話し合いました。働く人の手によって、たくさんの工夫がなされていることに気が付きました。



【11月27日】

探検で見たこと、聞いたことを模造紙にまとめました。このまとめを活用して、クラスで発表会をしました。

## まとめ

町探検で、町やお店の中の様子を観察したり、お店や公共施設で働く人にインタビューをしたりする中で、地域の人と自分との関りに気が付き、地域の良さを発見しました。見たり聞いたりしたことの中から、自分が特に伝えたいことを選び、クラスで発表会を行いました。

# 令和5年度 碧山小学校4年生 西東京ふるさと探究学習

## 単元名：調べよう、育てよう、活用しよう『碧山小藍染プロジェクト！』

ねらい：藍を育て、藍染の製品を作る過程を通して、藍の歴史、文化、情報発信、販売の方法など、生産から消費までの流れを自分たちで体験しよう。

### 1学期

調べよう、育てよう

- ①藍について調べよう
- ・世界や日本の藍の歴史や、使われ方、効果などを調べました。
  - ・西東京市での藍栽培の歴史を調べました。
  - ・染め方を調べました。
  - ・調べたことを発表しました。

### ②藍を育てよう

- ・種から藍を育てて、育つ様子を観察しました。



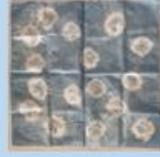
### 2学期

育てよう、活用しよう

### ③藍を活用しよう（藍染体験）

#### (1) 藍染体験

- ・ハンカチやタオルなどを、絞り染めやたたき染めで染めました。



#### (2) 60周年を藍で飾ろう

- ・60周年を藍色で飾るべく、記念の横断幕を作成し、奇贈しました。



### ④藍染グッズを販売しよう

#### (1) 販売計画と準備

- ・製造担当・・・藍染グッズのデザイン決めや製造（藍染）を行いました。
- ・広報担当・・・ポスター、チラシ、ホームページ、動画をを使って、製品の紹介、販売日時の宣伝などを行いました。
- ・販売担当・・・価格設定、当日の販売場所の確保、案内図や看板等の作成を行いました。

### 3学期

活用しよう

### ④藍染グッズを販売しよう

#### (2) 販売しよう



#### 紹介ホームページ



#### CM動画



販売用ハンカチ

# 西東京ふるさと探究学習

単元名：調べよう、育てよう、活用しよう『碧山小藍染プロジェクト！』

ねらい：藍を育て、藍染の製品を作る過程を通して、藍の歴史、文化、情報発信、販売の方法など、生産から消費までの流れを自分たちで体験しよう。

1学期  
調べよう、  
育てよう

## ①藍について調べよう

- ・世界や日本の藍の歴史や、使われ方、藍の効果などを調べました。
- ・西東京市での藍栽培の歴史を調べました。
- ・染め方を調べました。
- ・調べたことを発表しました。

**調べ学習**

地域の資料活用！

「下保谷の自然と文化を記録する会」が発行している「西東京市の藍の話」などを参考に調べました。



**発表会**

保護者や地域の方にも見ていただきました。

一人ひとり、スライドや紙芝居、模造紙などで発表しました。



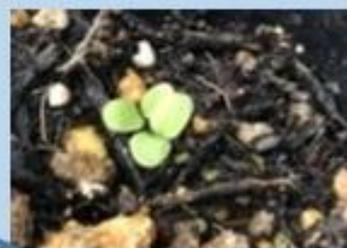
## ②藍を育てよう

- ・種から藍を育てて、育つ様子を観察しました。



みんなの手で藍を栽培しました。

←種（2mmほど）  
↓双葉 葉がしげった藍→



2学期 育てよう、活用しよう

### ③藍を活用しよう（藍染体験）

#### （1）藍染体験

- ・ハンカチやタオルなどを、絞り染めやたたき染めで染めました。



保護者や地域の方にも見ていただきました。



たたき染めのハンカチ

#### （2）60周年を藍で飾ろう

- ・60周年を藍色で飾るべく、記念の横断幕を作成し、寄贈しました。

白抜きの部分はろうけつ染めをしたものです。



幅約3m デザインも自分たちで考えました。

### ④藍染グッズを販売しよう

#### （1）販売計画と準備

- ・製造担当・・・藍染グッズのデザイン決めや製造（藍染）を行いました。
- ・広報担当・・・ポスター、チラシ、ホームページ、動画を使って、製品の紹介、販売日時の宣伝などを行いました。

情報発信



GIGA 端末専用 HP

※市から配付された端末のみ見ることが可能です。



- ・販売担当・・・価格設定、当日の販売場所の確保、案内図や看板等の作成を行いました。

3学期 活用しよう

#### （2）販売しよう

地域への還元

- ・藍染を自分たちが学習するだけでなく、学校外に情報を発信し、商品を販売することを通じて、学校と地域の互惠性を築く取り組みを行います。



保護者や地域の方もぜひ買ってみてください！！

令和5年度

芝久保小学校

地域とともにある学校づくり

2年生

コミュニティ・スクールの充実

# 西東京ふるさと探究学習

単元名： えがおのひみつたんけんたい  
(活動名)

ねらい：  
・地域の公共施設や店を見学する活動を通して、そこで働いている人々の仕事や仕事に対する思いについて知る。  
・身近な人々と関わるよさや楽しさが分かり、地域に親しみや愛着をもち、すすんで触れ合い交流することや、適切に接したり安全に生活したりすることができるようにする。



【9月6日】  
学区域の探検に出かけました。  
学区域とはいえ、初めて通る道もたくさんあります。

自分の知っている場所を通して嬉しそうに説明する子もいれば、知らないお店を発見して大興奮の子もいました。



【9月28日】  
3～4人のグループに分かれてお店見学に行きました。

お店の方から、店の設備や仕事の内容について教えていただきました。子どもたちからも、「仕事をしていて一番うれしいことは？」などたくさん質問をしました。



【10月17日】  
お店見学で分かったことをクラスの友達に伝えるために紙にまとめました。

グループの友達と相談して、クイズ形式にするなど、工夫してまとめていました。



【10月31日】  
発表会をしました。  
お店見学のときに、引率のボランティアをして

くださった地域の方もお招きしました。

## まとめ コラム

学区域探検を通して、これまで知らなかった公共施設やお店などの存在を知り、より詳しく調べたいという意欲がわいた子どもたち。地域のお店が子どもたちの見学を快く受け入れ、たくさんの「知りたい」に応えてくださいました。お店の方からは、「見学後にまたお店に来てくれて嬉しかった。」とのお声も。学習を通して、子どもたちからも、地域の方からも笑顔が見られ、嬉しい成果となりました。(2年担任)

令和5年度

芝久保小学校

地域とともにある学校づくり  
4年生

コミュニティ・スクールの充実

# 西東京ふるさと探究学習

住みやすいまちづくり

単元名：(活動名) みんながぐらしやすい社会をつくろう

ねらい：  
・障がいのある方との交流や体験活動を通して、感じ方や考え方を理解し、その人の立場に立って考えることができるようにする。  
・様々な人が社会で暮らしていることを知り、共に暮らしていくために、自分たちにできることを考え、実践しようとする意欲を高める。



【9月15日】  
アイマスクをして、教室や廊下をペアで歩きました。

アイマスク体験を通して、見えないと知っている場所でも不安なこと、声をかけてもらうことで安心することを体感しました。



【9月26日】  
盲導犬の出前授業を行いました。視覚障がい者の方から、盲導犬とどのように暮らしているのか教えていただきました。子どもたちからも、盲導犬や補装具についてたくさん質問をし、とても貴重な機会になりました。

しているのか教えていただきました。子どもたちからも、盲導犬や補装具についてたくさん質問をし、とても貴重な機会になりました。



【11月9日】  
テーマごとにグループを作り、交流や体験活動を通して、学んだことをまとめました。

グループの友達と相談して、スライドや紙芝居、劇など発表方法を工夫して準備していました。

【11月29日】  
グループごとに発表会をしました。社会で共に暮らすために、自分たちにできることを伝え合いました。



ることを伝え合いました。

## まとめ コラム

福祉の学習では交流や体験活動を通して、様々な人々が社会の中で暮らしていることを知りました。今年度は、盲導犬・認知症・手話体験・図書館バリアフリーの出前授業を行い、たくさんの地域の方にご協力をいただきました。お話を聞いて、苦労されていることや便利な器具があること、公共施設にも工夫があることを知り、より詳しく調べたいという意欲がわいた子どもたちです。学習を通して、子どもたちからも、自分たちにできることを実践していきたいという思いが発表から伝わり、とても嬉しく思いました。(4年担任)

令和5年度

栄小学校 3年生

地域とともにある学校づくり

コミュニティ・スクールの充実

# 西東京ふるさと探究学習

単元名： わたしたちの町、みりよく発見  
(活動名)

ねらい： 地域のみりよくについて課題をもち、探究した内容を保護者や他の学年に伝える活動をする。その活動を通して地域を支える人の存在やその思い、自分も町の住人であるということに気づきたい。  
そして、自分も地域に何かできることはないか、と主体的に社会参画して行ってほしいと願い、この単元を設定した。



【4月28日】  
町探検に出かけました。自分たちの町のすてきをたくさん見つけることができました。



【6月某日】  
交番のおまわりさんに仕事のくふうについて取材しました。

他にも保育園の先生や農家さんなどにも取材しました。取材して分かったことや感じたことをリーフレットにまとめて、読み合いました。



【9月21日】  
それぞれが調べた仕事のくふうについて発表しました。

町の人ですてきなところをたくさん出し合った後に学習発表会では「どんなすてきなところを伝えるとよいか」について話し合いました。

【11月11日】  
学習発表会で、町のすてきを劇にして紹介したり、町の人へ感謝の気持ちを伝えたりしました。



## まとめ コラム

自分の町のすてきなところを探していくと、たくさんの方が働いていることに気づきました。いろいろな仕事について知るうちに、自分のまわりにはすてきな大人がたくさんいらっしゃるのことが分かり、「自分もそんな大人になりたいな」と話していました。

令和5年度

栄小学校

6年生

地域とともにある学校づくり

コミュニティ・スクールの充実

# 西東京ふるさと探究学習

単元名： よりよい西東京プロジェクト ～私たちにできること～  
(活動名)

ねらい： 地域の特徴や課題を知り、自分たちでできることを話し合い、その解決に向けた探究的な学習の過程において、地域と目的意識をもって関わっていく。また、さまざまな視点で問題を捉え、状況に応じて課題を解決する力を育てていきたい。さらに、地域に貢献する活動を通して、地域への関心を高め、主体的に社会参画して行ってほしいと願い、この単元を設定した。



【6月】  
自分たちの身の回りを振り返り、地域のようすについて気付いたことを、学習端末を活用しながら、学年間で共有し、意見を出し合いました。人や環境に分けて整理し、話し合い活動を経て、栄小児童も多く利用する「わんぱく公園」に焦点化し、現状を調べに行きました。また清掃活動を行いました。



【9月】  
清掃活動から、わんぱく公園のごみの種類や量を体感し、ごみを減らすためにできることを考える中で、「ごみ箱を設置するとよいのでは」という意見が出ました。

そこで、ごみ箱を設置することについてさらに意見を出し合いました。市の公園課の方からの話も取り上げ、多面的に捉えることができました。



【10月】  
見つけた課題ごとに、グループを作り、「自分たちができること」という視点で解決策を具体的に考えました。そして、ごみの持ち帰りや安全に利用できるように呼び掛けるポスターを設置したり、ボールゾーンの壁を洗い、的当て用にペイントをしたりしました。



【11月】  
6年生の取組が「第2回にしとうきょう環境アワード」で奨励賞をいただきました。また、1月の学校公開で保護者向けに、2月の地域安全連絡会では、地域の方に取組を発信していく予定です。



## まとめコラム

公園にごみ箱を設置する問題点を考えたり、現時点で設置していない理由を知ったりすることで、「ごみ箱があると、散らかることは減っても、持ち込む人が増えるから、結局ごみは減らない。」や「ごみの分別が守られなかったり、回収しきれなかったりすることで、よい結果にはならないと思う。」などさまざまな視点で課題を捉える様子が見られました。活動後には、グループごとに報告し合い、自分たちの取組によって、地域をよりよくできたのかを話し合いました。その中で、「自分たちはよいと思って行ったことが、実際はどうだったかわからない。」という意見が多く出されました。そこで、利用する児童や地域の方にアンケートをとり、活動の効果を検証することとなりました。話し合いながら、自分たちが次に何をしたいのか、何をすべきなのかを決めて、学習を進めていく姿から、地域のことを自分事として考え、主体的に地域・社会に関わっていくとする気持ちが高まっていることが伝わってきます。

谷戸第二小学校 3年生

# 西東京ふるさと探究学習

単元名：「知らなかったね、西東京市」  
(活動名)

- ねらい：
- ・昔、西東京市で育てていたカイコを育て観察し、繭から糸を取り製品化する。
  - ・昔、西東京市で育てていた藍を育て、叩き染めやしぼり染の作品を作る。
  - ・昔、江戸時代に西東京市で使っていた様々な道具や市の移り変わりを調べる。
  - ・西東京市の知らなかった魅力を探して課題設定を行い、タブレットを使った発表会を行う。



【4・5月】  
藍畑を作るため、土づくりから始めました。腐葉土と石灰と土を混ぜて、やわらかい土にしました。おカイコ様のタネを養蚕試験場から送ってもらいました。



【7月】  
藍には水やり当番を決め、かかさず水やりを続けました。おカイコ様は何度も脱皮をくり返し、繭玉を作りました。カイコ名人のゲストティーチャーを招きました。



【9月】  
藍の葉をとり、叩き染めをしました。他にも藍を乾燥させて、藍染めにも挑戦しました。白い布に藍の色素が入る瞬間、子どもたちは感動していました。しぼり染のデザインは11種類あり、タブレットを見ながらひとりで完成させることができました。



【11月】  
3種の藍染めをつなげて「藍合のれん」にしました。繭玉は座繰り機を使って木枠に巻き取り、和紙を貼りました。これらを展覧会の作品としました。

## まとめ

昔から西東京市で育てていたカイコや藍から、様々な体験を通して学習をすすめました。体験的な学習では、ふりかえりの時間を大切に、4コマにまとめたり、印象的な物を描いたりしました。また、体験の感想だけでなく、疑問に思うことも記録し、自分の言葉で表現することもできました。

3学期は、昆虫や植物だけでなく、大きな枠に課題を広げて、調べ学習、表現活動を行っていく予定です。本校の研究である「発信する」「共感する」「活用する」などを、タブレットを使ってすすめる予定です。

谷戸第二小学校 4年生

# 西東京ふるさと探究学習

単元名：「西東京市をくらしやすい町に」

(活動名)

ねらい：

- ・西東京市は誰もが暮らしやすい町なのか調査をする。
- ・西東京市に住む障害のある方々から話を聞いたり、町の人へインタビューをしたりする。
- ・自分たちの行動で、直接情報を入手するため、課題意識をもって取り組むことができる。
- ・地域の福祉の現状と自分たちとの関わりについて気付き、地域に愛着をもつとともに、地域のために、自分たちにできることを考え取り組んでいく。



【5月】

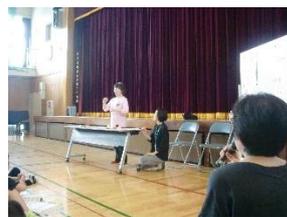
西東京市には、どんな人が住んでいるのか。そして、障害者や高齢者などに注目し、もしかしたら暮らしに

くいのではないかと。そこから、西東京市は、誰もが暮らしやすい町になっているのか、調べようという課題設定をしました。



【6月】

視覚障害、聴覚障害の方や車いすの方との交流をしました。どのような生活をしているか、暮らしやすさについての考えなどを知ることができました。



【9月】

街頭インタビューをしました。市役所や駅前、田無神社、公園など、いろいろなところに出かけ、調査を行いました。町の方々に「西東京市は暮らしやすい町だと思いますか?」と、インタビューし、町の方々の思いを聞き、情報収集をすることができました。

【9月】

これまで集めた情報を整理・分析しました。暮らしやすさにとって大切なことは何か、まとめをしました。分析の結果から大切なことは「人と人との優しいつながりや関わり」と考えました。ここから自分たちにできることは何か、次の課題設定をしていきます。



## まとめ

子どもたちは、様々な人と出会い、交流しました。障害者の方々との出会いで、暮らしをよくするためにいろいろな道具があることやサービスがあることを知りました。しかし、逆にバリアフリーにしすぎるのも良くないという話もしていただきました。また、耳が聞こえなくても、目が見えなくてもそこには人と人のかかわりがあることに気づきました。街頭インタビューをする中でも、優しくインタビューに応じてくださる町の方々との出会いがありました。「人と人とのつながり」が暮らしやすい町にとって大切だということを学びました。

谷戸第二小学校 6年生

# 西東京ふるさと探究学習

単元名：  
(活動名)

## 「世界の手助けプロジェクト」

ねらい：

- ・身の回りの外国籍の方々から話を聞いたり、社会科の学習と関連させたりして、世界の人々の困りごとを調べ、整理する。
- ・国語科の学習の時間で話し合いをしながら、課題意識をもって自分たちにできるアクションを計画し、実践することができる。
- ・世界に住む外国の人々や、地域に住む外国の方々の現状と自分たちとの関わりについて気付き、世の中や地域に愛着をもつとともに、自分たちにできることを考え取り組んでいく。

### 【10月】

西東京市多文化共生センターより、ベトナム人のジェップ先生をお招きして、日本とベトナムの生活の違いや、ベトナムで困ること、日本に来て困っていることについてお話していただきました。ジェップ先生や、友達との話し合いを通して、地域の中にも、外国の方々のために解決できそうなことがたくさんあふれていることに気が付きました。



### 【10月】

三菱アジア子ども絵日記フェスタや日本ユネスコ連盟より講師の先生をお招きして、西アジア～東南アジア諸国の子どもたちが描いた絵日記の紹介をいただきました。日本に住む私たちとは異なった考え方や生活について触れ、価値観の多様性に触れながらも、自分たちで問題を解決したいという課題意識が芽生えました。



### 【11月】

#### 募金グループからフリマグループへ

集めたお金	ユニセフに寄付
行う場所	ひばりヶ丘駅南口 北口
日時	3月7日10時15分～11時(予定)
許可	駅 ユニセフ
募金箱の用意	ユニセフに借りる

#### 『地域の活動チーム』 活動発表!!!!!!



国語科の時間を使って、チーム同士で交流しながら、お互いのプロジェクトをプレゼンしました。異なるプロジェクトの相手に対して、相手意識をもってアドバイスをしたり、相手からのリクエスト問題に答えたりして、ものの見方を広げ、新たな課題を発見できました。

### 【12月】

話し合いを経て、学級内のチームごとに活動プロジェクトを計画しました。土曜授業でのフリーマーケットチーム、大学と連携してのユネスコ活動貢献チーム、街頭でのユニセフ募金チーム、近隣店舗での不用品回収活動チーム、全校への情報発信チームに分かれて、3学期に実践します。



## まとめ

6年生は、日本の暮らしと世界の暮らしが違うことは、これまでの経験や学習から何となく知ってはいたものの、具体的に理解はしていませんでした。しかし、直接外国の方々の声を耳にすることで、強い課題意識をもつことができました。過去の上級生に倣って行っていた募金、年末の大掃除に出てくる不用品、主体的に取り組まなければ気付かなかった地域の活動に児童自ら参加しながら、直接的にも間接的にも、自分たちと世界の関わりを実感することができ、貴重な学びの機会となりました。

令和5年度

地域とともにある学校づくり

東小学校 4年生

コミュニティ・スクールの充実

# 西東京ふるさと探究学習

単元名：  
(活動名)

多様な人々と共に生きる

ねらい：

高齢者施設「そよ風」との訪問体験や交流を通して、自分が生きる社会には様々な人々がいることを理解し、地域で生きる一員として共生を目指す心情を養う。

【6月22日】

元パラアイスホッケー日本代表高橋さんをお招きして、お話を伺いました。パラリンピックや、障害をもつ人の生活について知り、考えを深めました。

【6月29日】

「認知症サポーター講座」を受け、認知症についてや、周りの人のかかわり方などを学びました。

【11月1日】

高齢者施設「そよ風」と交流会を行いました。1組はポッチャ、2組は紙コップリレー、3組はビンゴを一緒に楽しみました。



【10月6日】

高齢者施設「そよ風」の利用者さんや介護士の方にインタビューしました。

高齢者の思いや生活、介護士さんの思いや仕事などを知りました。「介護士になりたい。」と夢をもつ人もいました。

【11月1日】

インタビューを基に、自分たちにできることを話し合いました。



【11月22日】

1組は季節を感じられる2024年のカレンダーを作り、2組は手紙と一緒にメッセージなどを録音した動画をプレゼントする予定です。3組は、自分たちの元気な歌声をCDに録音して、プレゼントすることになりました。準備を進めています。

## まとめ コラム

「そよ風」の高齢者と複数回交流することにより、かかわる時に大切な心がまえや適切な接し方について自分事として考えることができました。自分たちがかかわることで涙を流して喜んでくれる相手の姿を見て、「自分にもできることがあるのだ」と実感する子どもたちでした。地域や社会でこれから出会う様々な人とのかかわりで、今回の学びが生きることを願います。

令和5年度

東小学校 6年生

地域とともにある学校づくり

コミュニティ・スクールの充実

# 西東京ふるさと探究学習

単元名：  
(活動名)

目指せ！防災リーダー！

ねらい：

地域の防災上の課題を見付け、地域のために何ができるか考え実践するとともに、防災・減災の意識を高め、行動する力(防災行動力)を身に付ける。

【7月3日】

西東京市では、どのような防災・減災の取組をしているのかを調べるために、防災・保谷保健福祉総合センターを訪問しました。

西東京市の備蓄倉庫の見学や、消火器を使った消火訓練を行いました。



【11月15日】

地域や保護者の方から取ったアンケートを基に、「防災教室(仮)」の内容を話し合いました。



【11月11日】

学習発表会で、今まで学んだ防災・減災のことを模造紙にまとめて発表しました。

地域や保護者の方の防災意識を高めることを目的とした3学期の活動「防災教室(仮)」の宣伝も行いました。



## まとめ

1年を通して防災意識を高めるとともに、防災行動力を身に付けるべく学習してきました。自分たちの知識を広げるために、また地域や保護者に広めるために、どんな取組をすることが良いのか、突き詰めて意見を出し合う姿は、高学年ならではの姿でした。この学習での学びを、今後の生活に役立ててほしいと思います。

令和5年度

柳沢小学校 3年生

地域とともにある学校づくり

コミュニティ・スクールの充実

# 西東京ふるさと探究学習

単元名： 西東京市の野菜と仲良くなろう  
(活動名)

- ねらい：
- ・西東京市の野菜を知り、農家の方の工夫や思いを知ることで、地産地消の思いを育む。
  - ・どうしたら野菜をたくさん食べられるのか、地場野菜を使ったメニューを考えたり、レシピを調べたりして、野菜の魅力やおすすめのレシピを発信する。



【7月】

社会科「はたらく人とわたしたちの暮らし」で、農家へ見学に行きました。農家の方がしている仕事の工夫や思いを知ることで、「野菜をもっと食べよう!」と考えました。学校で残菜調査をしてみると、野菜が食べられていないことに気付きました。

野菜に興味をもってもらうために、1、2年生に向けて、野菜の魅力を伝えました。

【9月、11月】

野菜ともっと仲良くなるために、育てることにしました。農家の方のご協力で、立派な大根を育てることができました。この大根を美味しく無駄なくいただく方法を考えました。



【12月15日】

地域の野菜の魅力や、たくさん食べる工夫について、たくさんの人に伝えたいと考え、4、5年生と農家の方を発表会に招待しました。

スーパーマーケットや近隣の幼稚園・保育園でも考えたレシピを展示、配布してもらう予定です。見た人がもっと野菜をたくさん食べてくれますように!



## まとめ

この単元を通して、社会科の学習内容への理解が深まるとともに、低学年での学習（生活科）を生かしながら発展的に活動することができ、高学年での学習（家庭科、社会科、総合的な学習の時間）への連続した学びも期待できます。

地域の方や異学年の児童など、多くの方と関わりながら学習することができました。

# 西東京ふるさと探究学習

単元名： きせつとなかよし あき 「～あきはかせになろう～」  
(活動名)

ねらい： 秋の自然を諸感覚を使って観察したり、自然物を使って遊んだりする活動を通して、秋の特徴や他の季節との違いを見付けることやそれらを使って遊ぶ方法を考えたり、遊びを楽しく工夫したりすることができ、自然や生活の様子の変化、自然の面白さや不思議さ、野原や公園のルールやマナーを守って遊ぶことなどについて気付き、季節を取り入れて遊びや生活を楽しく創り出すことができるようにする。



【10月24日】

小金井公園の樹木の会の皆さんに「秋探しツアー」に連れて行ってもらいました。樹木の会の皆さんに様々な木の実を紹介してもらったり、木の実を使った遊びを紹介してもらったりして、小金井公園の「秋」を五感で味わうことができました。集めた木の実や葉っぱは、自分の宝箱に入れ、学校に帰ってからも楽しそうに観察していました。



【10月下旬～11月中旬】  
自分の宝箱の中にある「お宝」を使って、おもちゃ作りをしました。どんぐりコマや松ぼっくりけん玉、むくろじ的当てなど、一人一人が創意工夫を凝らして活動しました。

【11月27日】

作ったおもちゃをたくさんの人たちと楽しみたい！という子どもたちの願い。それが、この日に叶いました。向ヶ丘幼稚園の年長さんが来てくれ、子どもたちは自分のおもちゃの使い方を一生懸命説明したり、上手にコマを回せたら拍手をしたり、楽しく活動しました。「できた！」という体験が、子どもたちの成長に繋がりました。



## まとめコラム

今年度は、小金井公園の「樹木の会」の皆様との出会いをきっかけとして学習を進めました。遠足や生活科の虫探しで何度も行ったことのある小金井公園。その公園に、まだまだ知らないことがあることに気付いたり、そこで見つけたものを使って自分たちでおもちゃ作りをしたりすることを通して、地域の良さに気付き、その良さを生かしていける子どもたちに育ててくれることを願っています。来年度からも、自分たちの地域にある良さを見付けたり、新しい発見を楽しんだりすることのできる児童の育成を図っていきます。

令和5年度

本町小学校 3年生

地域とともにある学校づくり

コミュニティ・スクールの充実

# 西東京ふるさと探究学習

単元名：  
(活動名)

## やぎさわ北口商店がいを知ろう

ねらい：

自分の暮らす町に愛着をもち、今の自分がどのようにかかわることができるか考えることで、自分が地域の一員であることに気付かせ、町のことをもっと知りたいとすすんで学び、理解を深める。

【9月8日】

柳沢北口商店街を訪れ、自分が気になったお店を調べました。お店を見学する中で、どんな工夫をしているか考え、まとめることができました。



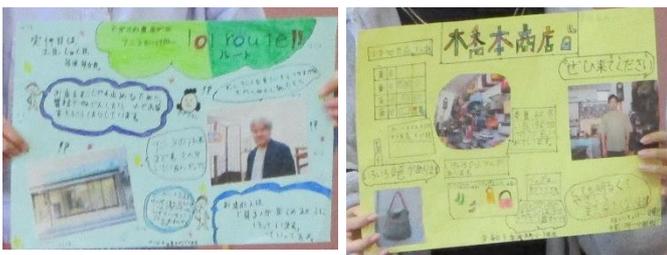
【10月19日】

班ごとに商店街のお店へインタビューに行きました。店員さんが意識していることや、商品の工夫など、そのお店の特徴について詳しく聞くことができました。



【11月21日】

インタビューしたことをもとに、各班でお店の紹介ポスターを作りました。そのお店の特徴に合わせてレイアウトも工夫し、素敵なポスターができました。



【12月20日】

自分の班で調べたお店について、発表をしました。作ったポスターを見せながら、それぞれのお店の特徴や紹介について、丁寧に伝えることができました。



## まとめ

「やぎさわ北口商店街を知ろう」の学習では、普段なにげなく利用していた商店街でしたが、詳しく調べたり、商店街の方にインタビューしたりすることで、お店の工夫や店員さんの思いについて知り、改めて地元の商店街に目を向ける機会になりました。

# 西東京ふるさと探究学習

単元名： 食べる事とは？～食について考えよう～  
(活動名)

ねらい： ・「お米の学校」において、種もみの選別から土づくり、田植え、成長管理を行い、秋には収穫して食する一連の活動を通して、食や農業へ関心をもち、理解を深める。  
・環境問題を知ることによって食品ロスを減らす取組や地産地消に関心をもち、その上で西東京市内でとれる野菜に興味をもち、「ぐるめぐメニュー」の活動に参加する。

【5月15日】

「第1回  
お米の学校」  
新潟から農家の  
臼井さんに来て  
いただきました。



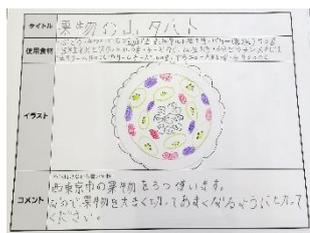
今回は初回ということで、種もみの中から、元気に育つものを選別する作業をしました。お米にも命があるということを実感できました。

【7月13日】

「第3回  
お米の学校」  
田植えから1ヵ月  
経ち、稲の健康観察  
を行いました。



稲の身長(草丈)を測ったり、葉の様子をよく観察して病気や虫の害にあっていないかを確認したりしました。適切な肥料を与え、成長を願いました。



【7月】 「ぐるめぐメニューに挑戦!!」  
食品ロスの問題から地産地消について調べました。西東京市の秋冬野菜を使ったぐるめぐメニューをそれぞれに考案し、食について理解を深めました。

【10月24日】

「第4回  
お米の学校」  
夏休みに水やりや観察を続けてきた稲の収穫をしました。どのくらいの収穫量になるか計算し、食糧生産の大変さと有難さを実感しました。



## まとめ

「食べる事とは？～食について考えよう～」では、自分たちで土づくりからお米を育てる事で生産者の苦勞を体験し、その後の国語の学習で「給食の食べ残しが課題だから改善したい」が話し合いのテーマに挙がるなど、子供たちの食への意識に変容が見られました。ぐるめぐメニューは市内の店舗での販売はかないませんでした。本校の給食で西東京野菜シチューを提供してもらうことができました。

令和5年度

地域とともにある学校づくり

住吉小学校 5年生

コミュニティ・スクールの充実

# 西東京ふるさと探究学習

単元名： 「西東京市から世界へ」  
(活動名)

ねらい：  
・ 東南アジアの山岳少数民族の暮らしについて知り、自分たちには何ができるかを考える。  
・ 西東京市の一員として、地域にも情報発信し、協力をお願いしながら、支援や交流活動を計画、実施する。

## 【5月11日】『課題意識の芽生え』

NPO 法人シーエスアールスクエアの穴戸仙助先生に來校いただき、東南アジアの山岳少数民族の子どもたちの生活について教えていただきました。

お話を通して、自分たちも何か役に立つことができなかと今後の学習に向けて大きな課題意識をもつことができました。



## 【10月8日】『地域への発信』

これまでに聞いたお話や自分たちで調べた内容を整理・分析し、地域のルピナス会館で行われた催しで展示発表をさせていただきました。池澤市長をはじめ、多くの方に展示を見ていただき、感想もいただくことができました。



## 【9月12日】『新たな情報の収集』

本校の4年生の担任教諭が夏季休業日中にベトナムへ行きました。その時の様子を教えてもらいました。現地の人々の現状を広く伝えていくことが大切であるというお話をいただき、地域への情報発信の必要性やそれに向けた意欲を高めました。



## 【12月以降】『支援の実現』

主にベトナムの山岳少数民族の暮らしを知ることを通して、「募金活動で集めたお金で学用品を寄付したい。」「日本の昔遊びの紹介で楽しんでもらうのはどうかな。」など、少しずつ支援の案も出てきました。今後さらに自分たちができる支援の形を検討し、地域や保護者の方々にも協力を呼び掛けながら、支援の実現へ向けて学習を進めていきます。

## まとめコラム

学びの中で自分事として課題意識をもつことができた子どもたちの表情は輝いています。学習が進むにつれて「こんなことしてみたらどうかな?」「こんな風にしたら、地域の人にも興味をもってもらえるんじゃないかな?」と、どんどん案が出てくるようになりました。展示発表に対して地域の方からいただいたアンケートもとても嬉しそうに見えています。地域の一員としての意識も大切にしながら、人のために自分たちには何ができるかを探究しながら学びを深めていきたいと思えます。

令和5年度

けやき小学校

地域とともにある学校づくり

5年生

コミュニティ・スクールの充実

# 西東京ふるさと探究学習

単元名：  
(活動名)

わたしたちの地球（環境）

ねらい：

- ・地域社会の課題について理解を深め、よりよい地域社会との関わり方に気付く。
- ・目的に応じ、情報を集め、整理・分析し、自分の考えをもつことができる。
- ・自分の考えを目的や相手に応じてまとめ、わかりやすく表現することができる。
- ・課題の解決に向け、友達や地域の人と主体的・協働的に学習に取り組む。

【5月～】



身近な自然環境に関わるニュースに触れ、環境について考えていく見通しをもちました。

身近な環境について友達と交流し、疑問に思ったこと、もっと知りたいと思ったことを話し合いました。

【9月～】



地球環境の現状の課題を把握するため、西東京市環境保全課の職員による出前授業を受けました。

家庭や学校で今私たちにできる取り組みについて教えていただきました。

【9月29日】「世界を変える30歳未満の日本人30人」の一人に選ばれた、化学者の村木風海さんをゲストティーチャーに迎え、地球温暖化問題の現状と課題についてお話をいただきました。



【2030年問題についての話】



【CO2を可視化するために実験を通して説明していただきました。】



【実験に参加して確かめました。】

## コラム

地球環境について、外部の講師による様々な角度からの話を聴いて、私たちの小さな努力が大きな結果に結びつくことを学習できました。さらに、自分たちでも調べ学習を進め、統計資料を活用しながら身近で起きている環境問題について現状と課題を発表し合いました。3学期は学校や家庭でできる取り組みについて考え実践していく予定です。

令和5年度

けやき小学校

地域とともにある学校づくり

6年生

コミュニティ・スクールの充実

# 西東京ふるさと探究学習

単元名：  
(活動名)

自分の将来を見つめよう（キャリア）

ねらい：

- ・職業について調べる活動を通して、様々な職業のよさやそこで働く人々の思いに気付く。
- ・自己の将来の夢や、そのために今しなければならないことについて考える。
- ・学んだことをこれからの自己の生き方や生活に生かそうとする。



【5月～】

1年生とのか  
かわりや学校の  
ためになる活動  
を考え、校内の安  
全見守りなど取  
り組みました。

友達と試行錯誤しながら役割を果たす中で自分  
の長所や得意を捉え、自己理解を深めていくこと  
ができました。



【9月～】

1学期の活動を通  
して、自己理解  
を深めた上で、働  
くことの意義につ  
いて考えました。  
また、興味のある  
仕事について調べ  
スライドにまとめ  
ました。

【12月8日】

地域の働き手の方から働くことの意義ややりがいについてお話を聞きました。



【消防署の仕事】



【海外での仕事】



【障がい者サッカーコーチの仕事】

## まとめ コラム

興味のある職業について調べてまとめる活動を経て、働き手のリアルな体験談や考えに触れることが出来ました。より働くことの意義について深く理解することが出来たようです。年間を通してキャリアについて考えている6年生にとってとても有意義な時間となりました。今後は今回のお話も踏まえて、自分の将来についてより深く考え、発表する予定です。

# 西東京ふるさと探究学習

単元名：  
(活動名)

西東京を知る 「トレジャーハンター」の取り組みを通して

ねらい：

西東京市の伝統・文化・自然に関する学習を通し、各自が西東京市に関するお宝を探す。また都心との共通点、相違点を比較・分類し、西東京市の魅力を再発見する。



## 【6月16日】「西東京市を知る会」

西東京市の豊かな自然や歴史的な文化財、住みやすいまちづくりに取り組む人々がいることを知るとともに、よりよい地域社会のあり方について考えました。

市役所 公民館 ゆめこらぼ（西東京市市民協働推進センター）のお話を聞き、「誰一人取り残さない」まちづくりの課題は何かを考えました。



## 【9月16日】「トレジャーハンター発表会」

夏休みに、トレジャーハンターとして、地域に関心を持ち、西東京市の「お宝」を探し出しました。事前調査・実地調査・インタビュー

など調査の仕方を学び、調査対象について調べたことをまとめ、9月16日の学校公開で一人一人発表しました。



## 【11月2日】「校外学習 上野・浅草・押上」

上が多くの人を集める魅力は何か？」

多くの人を訪れる上野・浅草・押上には、どんなお宝が知られていて、誰にとってどんな魅力があるのかを調査するために、校外学習へ行ってきました。お宝やその周りの様子を目で見て、観光客や従業員にインタビューし、実際に体験することで、自分たちが魅力だと予想したこととの違いに気づき、新たな魅力を発見することができました。

## 【11月24～27日】「校外学習 スライドによるレポート作成」

インターネットを介して様々な情報を得られる時代ですが、校外学習で実際に見て、聞いて、体験して得た情報はネットで探しても見つからない大変貴重なものとなりました。生徒自ら予想を立て、現地で予想の検証をし、そこから考察をして、スライドレポートにまとめました。レポートを互いに読み合いコメントし意見交換を行いました。

## まとめ コラム

自分たちが暮らす西東京市についての探究的な学習に、主体的協働的に取り組むことで地域の特徴やよさに気づくことができました。また、自分たちの生活が人々の努力や工夫によって支えられていることが理解できたと思います。

令和5年度

地域とともにある学校づくり

コミュニティ・スクールの充実

田無第一中学校 2年生

# 西東京ふるさと探究学習

単元名：(活動名) 住んでいる街(西東京市)を知る。理解を深める。関わる。

- ねらい：
- ①地域の職場を通し、事前の調べ学習や当日の体験をすることで、地域の社会構図への理解を深める。また、働くことを通して地域の中にいる自分を考えるきっかけにする。(知識、技能、学ぶ姿勢)
  - ②地域に貢献できることに積極的に取り組み自ら情報を発信できる力をつける。(思考、判断、表現、)
  - ③地域の施設の取組を理解し、自分たちの住んでいる街の理解を深める(知識)

【5月1日～】

9月に行われる地域での職場体験に向けて、仕事とは何か？地域にはどんな仕事があるか？などを掘り下げて働くことの意味、大切さを知るところから学習を始めました。クラスで様々な職業を分担して調べ、様々な仕事情報を学級・学年で共有しました。



【5月25日～】

様々な職業について考え、情報として共有した後、実際に「自分たちの地域にどんな職業があるのか？」と理解を深めた上で、実際に自分が体験したい職業の希望調査をして体験先を決定していきました。

そして、決定した体験先について体験前に調べ学習を通して知識を深めました。



【6月下旬～7/13日】

6月下旬から7月にかけて自分たちの出身小学校でもある小学校の後輩へ、一中の魅力を伝え、中学校へ安心して進学してきてもらうために、学級で協力をして小学生がわかりやすいようなプレゼンテーション資料を工夫して作りました。

そして、当日は地域の3つの小学校の全クラスに代表表班が1班ずつその目的を果たすために訪問し、それぞれが代表の自覚をもってプレゼンテーションをしていくことができました。



【9月19日】

いよいよ3日後に迫った職場体験学習に備えて社会に出て働く上でのマナーを学び、職場体験への心構えを強めました。



【9月22日】

ご協力をいただいた様々な地域の施設や企業(職場)で、いろいろな職種を通して一人一人が貴重な体験をさせていただきました。



【11月9日】

田無特別支援学校とも地域の学校同士として交流をし、互いの学校について理解を深めました。



「ボッチャ」という競技を田無特別支援学校から教えていただき実際に競技を通して交流しました。

【6月9日&11月15日】

6月9日と11月15日には市内の図書館の方を講師に招き「まちなか先生」としてクラスごとに授業をしていただきました。市内の図書館などが行っている取組を教えていただくことで、普通に生活していると知らずに終わってしまうことを知ることができ、改めて市内の活動の幅広さを実感することができました。



## コラム

- ・秋の職場体験に向けて働くことの意味を考えながら地域における様々な仕事を知ることができました。今年度は1日の体験しかできなかったものの、地域の職場に勤めている方々の協力を得て、働くことを理解するとともに、地域のコミュニティを知ることができ、感想には働くことの大変さと地域で働いてくれている方への感謝の意識がありました。
- ・地域の学校との交流を通し、小学校には地域の先輩としての自覚、支援学校との交流では様々な環境下にある多様性を知り、地域を通して社会に対する視野を広げることができました。
- ・西東京市で行っている「まちなか先生」の活動を通し、それまで知らなかった市の取組を知るとともに、職場体験前のマナーに関する授業を自らの職場体験学習につなげることをしていました。

## まとめ

今年度の「(西東京市を)知る。理解を深める。関わる」というテーマのもと様々な地域の現状を知るとともに理解を深めることができた。また、活動を通して今年度一中の研究テーマである「デジタル・シティズンシップ教育」も活かしながら、適正なデジタル機器の活用能力や表現力も高まったのではないかなと思う。

来年度に行われる修学旅行では、日本の歴史が詰まった古都の街の学習を行う。その学習を活かし、自分たちの住んでいる街や地域(西東京市や東京都)を未来にどう残していくのがよいのかを考えて、将来的な行動に結び付けていける力を育成していきたい。

# 西東京ふるさと探究学習

単元名：西東京市の未来を創る  
(活動名)

ねらい：①今まで学習してきたことを相互に関連付けて、積極的に調べたり仲間とともに話し合ったりすること等を通して京都市や西東京市について知るとともに、その理解を深める。(知識及び技能)  
②京都市や西東京市、SDGsや共生社会についての情報を収集し、整理・分析したものを、まとめ・表現することができるようにする。(思考力、判断力、表現力等)



【4月20日】「修学旅行、  
班探求テーマ決定」  
2学年3学期に調べた京都・奈良について個人で考えていたSDGsや共生社会に関わる探究テーマを持ち寄り、行動班のメンバーと班の探究テーマを決定。自分たちが今まで学習してきたことと関連付け、テーマに対する仮説も立てました。仮説をもとに、当日行うインタビューの内容、班行動で訪れる京都・奈良の場所を決めています。

班のメンバーと班の探究テーマを決定。自分たちが今まで学習してきたことと関連付け、テーマに対する仮説も立てました。仮説をもとに、当日行うインタビューの内容、班行動で訪れる京都・奈良の場所を決めています。



【6月6、7、8日】「修学旅行」  
待ちに待った修学旅行。生徒は行事を楽しみながらも、自分たちで決定した探究テーマの仮説の答えを探していました。緊張しながら行ったインタビューも、現地の方々が丁寧に答えてくださり、SDGsや共生社会についての理解も深まりました。「やっぱり!」や「へ～! そうだったのか!」という声が聞かれました。事後学習では京都で探究したことをもとに、西東京市で行うことのできる取組を提案していきます。

現地の方々が丁寧に答えてくださり、SDGsや共生社会についての理解も深まりました。「やっぱり!」や「へ～! そうだったのか!」という声が聞かれました。事後学習では京都で探究したことをもとに、西東京市で行うことのできる取組を提案していきます。



【7月11日】  
「探究学習まとめ」  
事後学習の発表に向けて、タブレットを活用し、班で分担してスライドを作成します。スライドによる発表は年々上達し、見やすいデザインやアニメーションを考えました。発表原稿もドキュメントで作成し、班で共同作業を効率よく行いました。発表に向けてBGMを考える班もあり、様々な工夫を行っていました。

発表原稿もドキュメントで作成し、班で共同作業を効率よく行いました。発表に向けてBGMを考える班もあり、様々な工夫を行っていました。



【9月16日】  
「西東京市の未来発表会」  
探究学習を通して考えた「こんな西東京市にしたい」「こんな西東京市に住みたい」「こんな街貢献をしたい」を提案しました。他の班の発表を見ることを通して、探求的な学習のよさを知りました。どの班の発表も興味深く、西東京市への提案を聴くと拍手が起こりました。また、自分たちの住む町の未来を創るのは、将来の自分たちだという意識をもつようになりました。

他の班の発表を見ることを通して、探求的な学習のよさを知りました。どの班の発表も興味深く、西東京市への提案を聴くと拍手が起こりました。また、自分たちの住む町の未来を創るのは、将来の自分たちだという意識をもつようになりました。

## まとめ コラム

1・2年時に学習してきたSDGsや共生社会の視点から「こんな西東京市にしたい」「こんな西東京市に住みたい」「こんな街貢献をしたい」を半年以上考えてきました。この探究学習を通して、どの生徒も「西東京市に住んでいる中学3年生」から「西東京市民の一人」になったように感じます。これからの時代を生きていく若者が、どのような大人になり、社会に貢献していくのか楽しみにしています。

令和5年度

保谷中学校 2年生

地域とともにある学校づくり

コミュニティ・スクールの充実

# 西東京ふるさと探究学習

単元名： 保谷中の魅力が伝わるパンフレット（学校案内）づくり  
(活動名)

- ねらい：
- ・ 保谷中学校の一員として学校の魅力について調べ、良さを知る。
  - ・ 自ら課題を設定し、必要な情報を収集していく中で考えを深めていく。
  - ・ 学習を通して学んだことを来年度の修学旅行に生かす。



【内容・担当決め】

保谷中の魅力を伝えるためにどのような内容にしようか班で話し合い、担当するページを決めました。



【クラス発表】

工夫したことなどをまじえながら、作成したパンフレットの発表をクラスごとに行いました。

## 【保谷中パンフレット配布隊】

各クラスの代表として選ばれた班が集い、学年で発表会を行いました。その中で優秀作品に選ばれた二班のパンフレットを、近隣の小学校に配布しに行きました。



【小学生の感想】

小学校からパンフレットを読んだ6年生のお礼の手紙が届きました。

## まとめ

小学6年生に保谷中の魅力を知ってもらうためにはどのような内容のパンフレットにすればよいかを考えることで、自分たちの学校の魅力を再発見することができました。必要な写真を撮ったり、小学生にわかりやすい文章を考えたりする活動を通してどうしたら相手により伝わるか考えを深めることができました。

令和5年度

保谷中学校 3年生

地域とともにある学校づくり

コミュニティ・スクールの充実

# 西東京ふるさと探究学習

単元名： 西東京を誰もが住みやすい街にするために、できることを考えてみよう  
(活動名)

ねらい： ・西東京市への愛着を持ち、地域社会に参加・参画する態度を育成する  
・「探求的な見方・考え方」を働かせ、総合的・横断的な学習を通して、  
よりよく課題を解決する力、社会の中で自己の考えを表現する資質・能力を育成する

【10月】

社会の授業で、「西東京市をよりよくする方法」について考え、班で優先順位をつけた。



【12月12日】

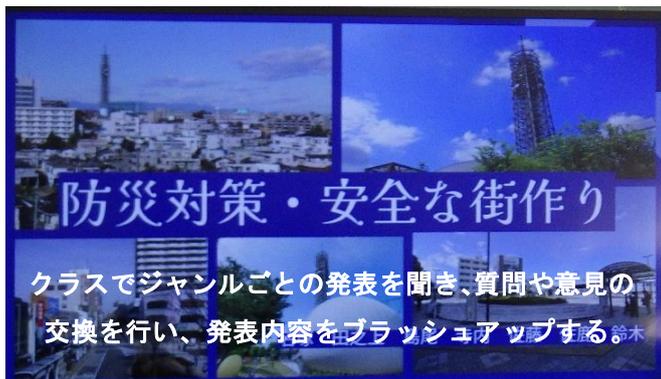
「西東京市をよりよくするための企画・提案を考えよう」

6つのジャンルに分かれグループを作り、個人の提案を発表し、その中から班で提案する内容を絞り込む。

- ①公立中学校・小学校について
- ②地域の自然・広場に関すること
- ③便利な生活のために
- ④高齢者福祉・障害者福祉・児童福祉
- ⑤子育て支援・少子化対策・子供のための施設
- ⑥防災対策・安全な街づくり

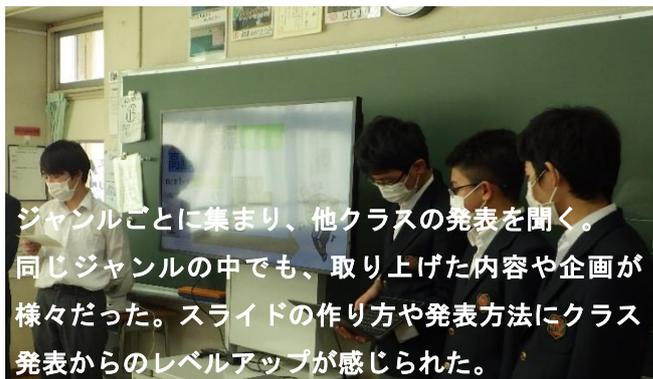
【12月25日】

クラス内発表会



【1月16日】

ジャンル別の発表会



## まとめコラム

現在の市内の公園の状況を調べ、学生が球技を楽しめる施設をどこに作るのが良いか検討したグループ。勉強と遊びの両方ができる公共施設の計画。中学生がベビーシッター部の活動として子育てのサポートをする企画。市内の危険箇所を防災面・交通安全・防犯面で検証する。障がい者や高齢者の視点で安全な街づくりの提案。など、中学生の柔軟な発想のもと様々な企画が提案されました。スライド作成や発表の方法もレベルアップが感じられました。

## 生徒の感想から

今まで西東京市についてあまり関心を持っていなかったが、この学習で西東京市についてたくさん調べ、改善の余地を見出すことができた。また、良いところを見つけることもできた。西東京市は目立つことはないが、平和であると感じた。

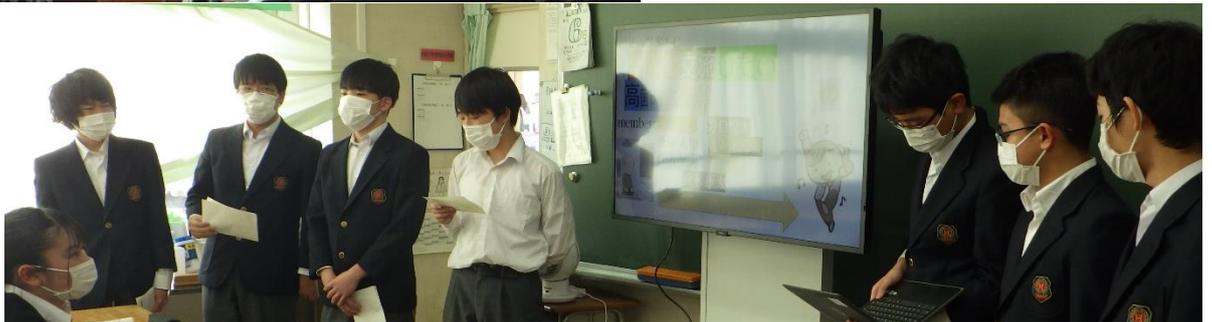
普段「こうなったらいいな」と思っていることを、企画し形にすることが楽しかった。また、他のクラスの発表を聞き、実際に採用されればよいと思うことが多くあったので、今後の西東京市政に活かしてほしいと感じた。

改めて西東京市の良さを知ることができた。これからも自分の故郷に誇りを持っていきたいと持った。

西東京市がほかの地域と比べてどのような特色があり、どのように良くしていけるのかたくさんの班の発表を聞いて考えることができた。また、発表ではそれぞれの班に個性があり、聞いていて楽しむことができた。他の地域の人にも良さを伝えていけると良い。

自分たちのやりたいことはたくさん思いつくが、そこから予算を決めたりすることが大変だと感じた。特にその企画を実行したときに起こりそうなリスクを考えるのが大変だった。何か一つについて配慮すると、他のリスクが生まれる場面があった。多くの企画にボランティアを集めるという話があったが、簡単には集まらないのではと思った。

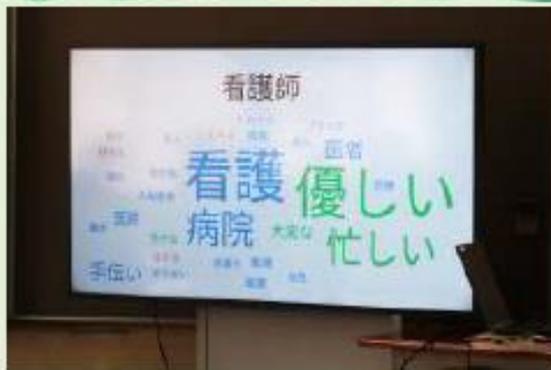
同じジャンルでも提案内容は様々で、他クラスのいろいろな考えを知ることができて面白かった。〇〇班の発表では、でてくるだろう課題とそれに対する解決策を出していて、発表の仕方が良いと感じた。もっと時間をかけて学習したかったと感じた。



# 西東京ふるさと探究学習

単元名： 職業座談会／地域の方から仕事について学ぶ  
(活動名)

ねらい：  
・身近な地域で働かれている方をお招きして、教師が司会進行（ファシリテーション）をしながら仕事について伺うことで、様々な仕事について理解し、働くことの意義を学び、進路選択のひとつの機会とする。  
・生徒たちが将来の仕事への見通しをもち、地域社会での自己の役割を見出す。



【9月21日】

各クラスで事前に話を伺う職業についての調べ、イメージをタブレットで集約し、そのデータをテキストマイニングしておきました。また事前に職業別に質問を考えました。



【9月22日】

各クラスに2人から3人の様々な職業の方が、座談会を通して生徒たちにご自身のお仕事について詳しくその思いや仕事に就いたきっかけ、仕事をする上でのやりがいや大変さを語ってくれました。生徒たちは調べたり、思っていたりしたそれぞれの仕事に対するイメージとは違っていることが分かり、

様々な仕事について理解を深めました。



【9月22日】

生徒からの様々な質問に対して地域の方が丁寧に回答してくれました。地域の中で働く人の声を聴くことで地域の一員としての働くことの意義を見出しました。

【9月29日】

座談会のまとめ、出席者の方へ感想やお礼状を書きました。



## まとめコラム

・座談会を通して生徒は事前に調べてイメージしていた仕事とは少し異なることが分かりました。例えばパティシエは楽しそうな仕事だと思っていたけれど、朝早くから仕事をしなければならないなど予想以上に大変だと感じたり、看護師の仕事は患者さんに奉仕するため夜勤もあり大変だけど収入面では〇だとか…駅員さんのアナウンスには様々な工夫があることを知ったりなど…実際の仕事について理解すると同時に働くことの厳しさ、楽しさ、意義を学びました。

・座談会参加者は学校運営協議会を通して推薦してもらいました。また委員の方にも参加していただき、直接生徒に語りかけてもらうことで交流もでき、生徒の様子を間近に見ていただきました。

令和5年度

地域とともにある学校づくり

田無第二中学校 1年生

コミュニティ・スクールの充実

# 西東京ふるさと探究学習

単元名： 農業体験／西東京市の近郊農家で体験作業  
(活動名)

- ねらい：
- ・西東京市の地域産業である農業や植木業などの体験・訪問等を通して都市農業の理解を深める。
  - ・地域の方と接することで将来に渡り地域社会に参加、参画する気持ちを養う。



【10月23日】

西東京市産業振興課の方を招いて市内の農業や多摩地区の農業について詳しく講話をいただくとともに自分たちで西東京市の農業について詳しく調べ学習を行いました。

【10月31日】6人の班で市内17か所の農家・植木業野方のところで様々な農業体験・作業（詳しくは下記）を行うと共にインタビューを実施しました。

キュウイの収穫、ハウレンソウ等の種まき、鉢植えの手入れ、キャベツの収穫・袋詰め、トマト収穫、小松菜の収穫、卸売りの準備、かぼちゃの仕分け、商品が置かれている店の見学、落花生収穫、トラクター体験、草むしり、ハウス解体、ハーブ収穫、農地準備など



【11月11日】

体験を通して学んだこと班でまとめることをおしえて、西東京市の農業について探究を深めました。また、成果の報告はスライドにして学級ごとに班で発表をしました。発表会では保護者だけでなく体験先の農家の方を招いて行い、農家との交流を深めました。



生徒たちは普段の学校生活では得られない体験を地域の方との触れ合いで生き生きと活動していました。また、直接農家の方にインタビューすることで仕事についてだけでなくその暮らしや農業そのものについて深く理解をすることができました。

## まとめコラム

- ・体験を通して農業地区もある西東京市を深く理解するとともに農業全般について理解を深めた。また生産者と消費者の立場に立った産業構造や地産地消なども学んだ。
- ・労働体験を通して地元地域の方に触れ合うとともにインタビューを通して働くことについて理解を深めた。

# 西東京ふるさと探究学習

単元名：職場体験  
(活動名)

- ねらい：
- (1) 西東京市内にある職場で「働くこと」で仕事への意義ややりがい、地域への愛着を深める。
  - (2) 西東京市に貢献する意欲・意識の育みとともに、各事業所のSDGsへの取り組みを学ぶことで、自分の将来を考える契機とする。
  - (3) 働いている人と接する機会を通して、社会で必要なルールやマナーについて学ぶ。



【9月1日】

ハローワーク三鷹による、マナー講習を受けて、働く際のルールやマナーを学習しました。



【9月14日】

体験先に挨拶に伺います。事前学習では、西東京市の各事業所のSDGsへの取り組みも調べました。実際にどんなことを行っているのか質問しに行きます。



【9月29日】

各事業所の協力のもと、職場体験を実施しました。SDGsの取り組みも間近に見ることで、身近な課題としてより一層意識しました。



【10月26日】

事後学習として、個人の振り返りを模造紙に貼ります。

## コラム

各事業所のご理解・ご協力のもと、生徒たちは「働く」ということを肌で感じる貴重な体験をすることができました。従業員の方々から「とても真剣に話を聞いてくれる。」「小さい子どもたちのお世話を一生懸命行ってくれる。」といった嬉しいお言葉もいただきました。

何気なく暮らしている「西東京市内」で働くことで、地域の一員としての自覚がより一層芽生えました。

# 西東京ふるさと探究学習

単元名： 職場体験  
(活動名)

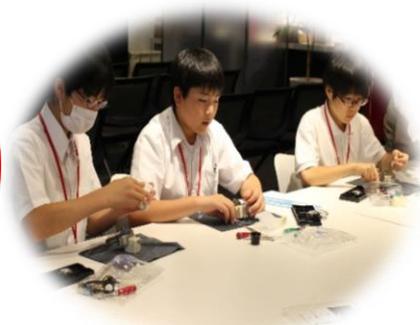
- ねらい：
- ① 事業所や店舗で、実際に就労する体験を通し、働くことの意義を考え、自己の将来を広い視野でとらえる。
  - ② 地域の人々に触れ合い、交流を深め、多くの人々に支えられているという実感を持ち、様々な生き方を学ぶ。

## 【4月～7月 事前学習】

- ・ 職業調べ
- ・ 職場希望調査
- ・ マナー指導
- ・ 事前打ち合わせ電話
- ・ 事前訪問指導・事前訪問
- ・ 前日指導

☑事前学習では、社会人としての心構えや言葉遣いについて学びました。

## 【7月7日 職場体験当日】



時計会社で、時計の電池交換とバンドの調節を体験しました。また、企画・営業についての話を聞き、工場も見学させていただきました。

## 【7月7日 職場体験当日】

コンビニエンスストアで品出しを体験しました。お客さんに大きな声で挨拶をすることができました。



## 【7月10日～ 事後学習】

お世話になった体験先にお礼状を書きました。また、職場体験で学んだことを個人新聞にまとめました。



## コラム

数年ぶりの職場体験のため1日だけの体験でしたが、地域の事業所にご協力いただき、生徒が生き生きとした表情で体験活動を行うことができました。事後学習では、生徒自身のキャリアを見つめ直すとともに、協力事業者の方との交流を深める機会となりました。

令和5年度

地域とともにある学校づくり

青嵐中学校 1年生

コミュニティ・スクールの充実

# 西東京ふるさと探究学習

単元名：**西東京市校外学習**  
(活動名)

- ねらい：
- (1) 集団行動を通じて自分の役割を果たし、規律ある行動を守りながら自律の力を養う。
  - (2) 話し合い活動や集団・班別行動を通じて団結力を深め、中学校生活の総合的な学習の場とする。
  - (3) 自分たちが生活する街を訪れて、西東京市への理解を深め関心を高める。



**[6月26日~]**

**事前学習**

事前学習では、歴史・建築や自然・環境と

いったいくつかのテーマの中から西東京市について調べ、chroom book を用いてスライドにまとめました。できたスライドは印刷して、お互いに見合う中で西東京市について多くのことを学びました。

**[11月2日]**

**校外学習当日**

校外学習のコースも自分たちで調べ作りました。田無神社や旭製菓、東大農場の見学など、事前学習で調べた施設を各班で巡り、行って初めてわかる学びも多くありました。



**校外学習当日**

多摩六都科学館は全ての班が見学しました。家庭科の授業と連携し、お弁当は生徒自身が自分で作りました。

田無神社は多くの班が立ち寄り、田無神社の歴史を学びました。生徒のお土産で一番多かったのは旭製菓のかりんとうでした。



**[11月6日~]**

**事後学習**

事後学習では班で協力して1つのスライドを作り、クラスで発表しました。

生徒のスライドには自分たちが班行動で撮った写真を使いました。今回の学習で体験したことや学んだことをまとめ、発表し、これからも自分たちが生活する西東京市への理解を深めました。



## まとめ コラム

校外学習で学んだことを生徒にアンケートで聞いたところ、「西東京市には多くの歴史がある」「西東京市には南関東最大級の下野谷遺跡やプラネタリウムがある」「西東京市には自分の知らない色々なものがある」といった西東京市についての学びや再発見についての意見が多く挙げられました。事前学習やコースづくりでの「自分たちで探す・決める」という学習形態が、生徒の主体的な学びにつながったと感じています。多摩六都科学館や東大農場では予約から当日の対応までしていただき、生徒にとって貴重な体験をさせていただきました。当日訪問させていただいた施設の方々もご協力ありがとうございました。

令和5年度

柳沢中学校 1年生

地域とともにある学校づくり

コミュニティ・スクールの充実

# 西東京ふるさと探究学習

単元名： 校外学習「市内巡り」  
(活動名)

ねらい： (1) 市内を巡りながら、班行動において協力・助け合いを実践し、その大切さを知る。  
(2) 校外における集団生活の在り方、公衆道徳などについて理解し、必要な行動の仕方を身に付ける。



下野谷遺跡に到着しました。



チェックポイントで、先生より謎解きをもらいます。



田無神社に到着しました。



タコ公園のベンチで謎解きをしています。

## まとめ

市内を巡る中、各チェックポイントで“謎解き”が配られ、その謎解きを解くことで、次の目的地の場所が分かるというレクリエーションを織り交ぜながら行いました。難しい謎解きも「う〜ん」と頭を悩ませながら、班員で協力しながら楽しく取り組んでいました。みんなで解いた問題が正解だった時の「やったー！」という喜ぶ姿はとても印象的でした。たくさんの生徒が「疲れたけれど楽しかった」と感想を書いていました。

令和5年度

地域とともにある学校づくり

田無第四中学校 2年生

コミュニティ・スクールの充実

# 西東京ふるさと探究学習

単元名： 職場体験  
(活動名)

- 活動内容
- (1)西東京市内にある様々な事業所の中から、希望する職種を選ぶ。
  - (2)事前訪問などを行い、体験の時間や事業所までの道のり、ルールなどを共有する。
  - (3)事業所ごとに分かれ、職場体験を行う。
  - (4)体験終了後、地域への感謝を込めて体験先へのお礼状を書く。



【消防署】

訓練の様子や所内の様子を見学しました。  
体験終了時には修了証をいただきました。



【農園】

農場での作業について学び、ブルーベリーの収穫と収穫後の作業を体験しました。



【幼稚園】

幼稚園の先生方と一緒に園児たちの世話をし、大勢の園児たちの前で読み聞かせも行いました。

【公民館】

自分たちの町の公民館の仕事に触れ、田無四中のボランティア部が作ったポスター掲示をしました。



## まとめ

西東京市内の各事業所様にご協力いただき、生徒たちは様々な体験をしました。体験中、真剣な顔つきで作業に没頭する姿や体験先の方と和やかに談笑する様子などが見られ、生徒たちにとって地域の中でのとても貴重な経験となりました。生徒たちが皆、忙しそうにしながらも楽しく充実感にあふれた表情をしていたことがとても印象的でした。

令和5年度

明保中学校

地域とともにある学校づくり

1年生

コミュニティ・スクールの充実

# 西東京ふるさと探究学習

単元名： **西東京市 活性化プロジェクト**  
(活動名)

ねらい： 自分たちが住む地域の良さや問題について考えたり、地域の活性化に向けて外部に魅力を発信したり、仲間や地域の人々といった他者と協働しながらイベントを企画・開催したりすることを通して、地域への愛着を深めるとともに、学んだことを生かしながら地域の活性化のためにできることを進んで考え、提案し、行動できるようにする。



【6月19日】「探究ガイダンス」  
ペーパブリッジコンテストを行い、「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」という探究のプロセスを学びました。



【6月26日】「インタビュー調査の整理・分析」  
地域住民へのインタビュー調査の結果をデータベース化するとともに、グラフや思考ツールを使って西東京市の良さや問題について整理・分析しました。



【7月14日】「活性化の見通しを立てる」  
「クラスの活性化」をテーマに、活性化のゴールイメージと、問題を解決するための実現可能な取組案を考えることを通して、「アイデアの出し方」を学びました。



【9月4日】「西東京市紹介カードをつくろう」  
今回は目指すべき「地域活性化」のイメージを明らかにするとともに、地域がもつ素材や文化、人的な資源について振り返る時間を設けました。



【9月8日】「プロジェクト案を考えよう」  
地域の良さを伸ばしたり、問題を解決したりするための実現可能な取組（プロジェクト案）を考え、班ごとに発表しました。



【9月29日】「プロジェクトチームが発足」  
地域活性化のために取り組みたい内容が近いメンバー同士で15個のチームを編成しました。クラスの棒を取り払うことで、同じ興味・関心をもつ生徒同士で主体的にプロジェクトを進めることができました。



【10月13日・16日】「探究課題の設定」  
いつ、誰のために、どうやって行うのか、どんな結果が得られるのかなど、探究計画表を活用しながら自分たちの取組の見通しを立てました。



【10月23日】「ゲストティーチャーの授業」  
“地域の飲食店とのオリジナルメニュー開発”を探究テーマに設定した班では、「めぐみちゃんメニュー事業」を行っている西東京市産業振興課の方々と、実際にメニュー販売を行っているカレーとデミ カサネヤ さんをお招きし、メニュー開発のノウハウを教えてくださいました。

## 今後の方針 (R5.10.19)

地元野菜の活用を考える班、地域のお店とオリジナルメニュー開発をする班、近隣の保育園児や幼稚園児に向けたイベントを企画する班、ごみの削減に取り組む班、地域の祭りや行事を盛り上げる班など、15個のプロジェクトが進行中です。取組の見通しを立てる中で、生徒は「インターネットで調べるだけでは分からないことがある」ということに気付きました。今後は、地元農家や飲食店などの事業所と連携を図るとともに、地域コーディネーターなどの外部人材との関わりの中で、プロジェクトを実感豊かに進めていきます。3月15日(金)には探究発表会（報告会とイベント）を行う予定です。

# 地域活性化プロジェクト 探究テーマ一覧

地元野菜の活用 / 西東京市の野菜のPR / ハンドメイド作品や特産品の販売  
西東京市のウォーキングマップの作成 / 西東京市のキャラクターPR 活動  
地域の飲食店との共同メニュー開発 / 病院マップの作成 / ごみの削減  
防犯対策・事故防止 / あいさつ運動 / 自然保護活動 / 公園の充実  
地域の祭りや行事 / 地域の公園や遊び場 / 地域の子供との交流

## 課題の設定

### ・話し合い活動から

まちの美化、ごみの削減をテーマにした班では、「西東京市のどこに、どのくらいごみが落ちているのか」「捨てられやすいごみは何か」という問いから、市内を歩いて回り、調査することにしました。

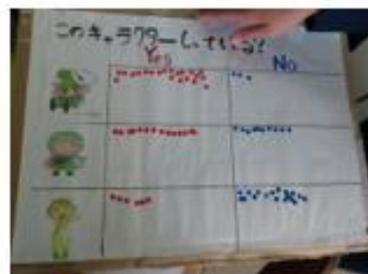


### ・体験活動から

地域の祭りや行事をテーマにした班は、自ら地域の行事に参加することで、その行事を主催している人の思いや願いに触れながら、イベントを企画する上での工夫や課題について考えることができました。

### ・街頭調査の結果から

学校周辺で西東京市のキャラクターの知名度調査を行いました。これらの結果をもとに、どの世代に、どのキャラクターをPRすればいいかを明らかにしました。



## 見通し



・5W1Hに基づき、実現可能性を高める  
その取組で得られる効果やターゲット、いつ・どこで・どのように行か否かを具体的に考えることで、見通しをもちながら、探究計画を作成することができました。

## 情報の収集

### ・インターネットで

ふと疑問に思ったことなどを瞬時に検索できるのがインターネットの利点です。

しかし、その情報が確かなものかどうか、他人の権利を侵害していないかなど、適切に扱わなければいけません。



### ・書籍などの資料で

オリジナルメニュー開発の班では、西東京市の「めぐみちゃんメニュー事業」のパンフレットなどを参考に、協力店請やメニュー案を検討しました。

保谷駅周辺の洋菓子屋、菓子工房 KIGUOCHI さんと、田無駅近くのカレー屋、カレーとデミ カサネヤさんにご協力いただけることになったようです。

### ・観察や実験で

自然保護活動をテーマにした班では、冬から春にかけて育つ植物を育成することにしました。まずは土づくりを行い、観察記録をつけていくようです。

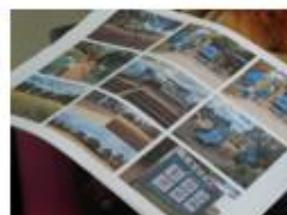


### ・個人インタビューで

小学生との交流イベントを企画する班では、碧山小学校の先生にお時間をいただき、イベントの日時や、児童が興味のあるもの、行事を実施する上で必要なことについて相談し、打ち合わせを行いました。

### ・フィールドワークで

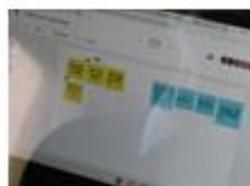
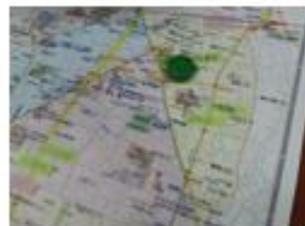
まちの美化、ごみの削減をテーマにした班では、実際に市内を回り、落ちているごみの種類や、ごみが捨てられやすい場所について調べました。地域の公園や遊び場をテーマにした班では、休みの日に市内を回り、写真を撮影してきたようです。



## 整理・分析

### ・地図を用いて

規格外野菜の活用をテーマにした班では、インターネット等で調べた市内の農家や子ども食堂の位置を、地図上に付箋を貼り整理しました。



### ・データベースや思考ツールで

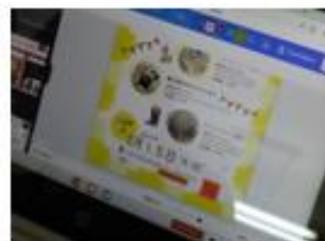
まちの美化、ごみの削減をテーマにした班では、市内に落ちていたごみの種類・場所をデータベースで集約しています。また、地域の公園や遊び場をテーマにした班では、撮影した写真を Google Drive (クラウド) に保管して共有しているようです。

他の班でも、他教科の授業で扱った Jamboard の付箋機能を、「決定したこと」「まだ決まっていないこと」などと思考ツールのように入れて整理・分析していました。

## まとめ・表現

### ・パンフレットやポスターで

各プロジェクトの成果物が形になってきました。「設置しやすく、気軽に手に取れるからパンフレットにしよう」「多くの人に見てもらえるからポスターがいいな」など、目的や場所、ターゲットによって形はさまざま。手描き・デジタルも、それぞれの良さや欠点をふまえて選択していました。



### ・スライドや動画で

パンフレットやポスターでは出せない、動きや奥行きをもたせる方法です。3月の最終報告会では、各プロジェクトがスライドを用いて半年間の取組の成果を報告します。説得力のある発表に期待ですね。

### ・イベントの企画で

3/15(金)に、『**探究発表会**』というイベントを実施予定です。ハンドメイド作家さんや地域の事業所、他学年にも協力をいただきながら、自分たちで「地域活性化プロジェクト」の成果を発信します。

# 西東京ふるさと探究学習

単元名： **かりんとう販売促進プロジェクト**  
(活動名)

ねらい： 地域の職場や仕事、専門家の方々との関わりを通して、地域の方々の仕事に対する姿勢や願いを理解し、働くことの意味や価値について自分の将来と関連付けて考えられるようにする。また、地元の特産品である「かりんとう」の販売促進活動を通して、市場を分析し、問題を発見・解決する力や、新たな価値を見出す創造力・発信力を身に付ける。



【4月14日】

- ① 探究ガイダンス開始。大学入試の改革に伴い「思考力・判断力・表現力」がより重視されるようになり、高校でも「総合的な探究の学習」が始まってはや一年。明保中でも「ふるさと探究学習」が始まりました。「探究学習をしましょう」と言っても、いきなり始められません。生徒たちが「探究学習の進め方」を体験することからスタートします。

② そのための解決策を挙げよう

案1	制服を良くする
案2	校舎をもう少しきれいにする
案3	部活を増やす
案4	生徒の自主性を上げる
案5	部活の休みを増やす
案6	大きめの行事をやる（文化祭など...）
案7	

③ 上記の解決策の中から、グループでの解決策を1つに絞ろう

大きめの行事をやる（文化祭など...）

【4月28日】

- ② まずは身近なテーマである「5学級の維持」という問題について考えます。「行事や部活動を活性化させるためにはどうすればいいか」という自分たちの生活に直結する”切実性”を持った問いについて、班ごとに話し合いを進めます。課題解決のための改善策や実行する上でのさらなる課題を掘り下げていきました。



【5月26日】

- ③ 明保中の良さや問題についての見方を広げるために、保護者の視点から明保中を実際に選択した理由を探ることにしました。(情報の収集) 各家庭でのインタビュー調査の結果をスプレッドシートなどで整理・分析し、クラス内でアイデアの共有を行いました。発表後の意見交換から、さらにアイデアは練られていきます。



【7月6日】

- ④ 明保中学校の5学級維持のために、各班から1つずつ、合計で24の企画書が作成されました。企画書は生徒会本部役員へ提出されました。これからどんな取組が行われるか楽しみです。

【7月14日】

⑤(株)旭製菓様より、これから始まる「かりんとう販売プロジェクト」に向けて、講話をしていただきました。最後に学年主任の先生から、希望の部署に分かれて活動を展開していくことを聞き、さらにやる気をみなぎらせる2年生です。



【9月15日】

⑥各クラス、かりんとう販売に向けたコンセプト決めに入りました。「3世帯向けの商品が、誰でも買いやすいんじゃない？」という意見が多く挙がりました。「でも、家庭科でやったけど、今3世帯って少ないんじゃないの?」「3世帯のお家、手挙げて!」・・・32人中2人。さて、この現状を踏まえて、コンセプトがどう練られていくのでしょうか。



Where? どこで行う取り組みなのか	人が集まる場所(学生会、部、明保、カラムとうきょう、市役所、こもれび、地域の小学校(小学部、高校など)) マーケティング部が決めるところ
Who? 誰に向けた取り組みなのか	実際に売って(マーケティング部がなぜ実施したいか調べてくれた)
When? いつ行うのか	いつでもいい
How? どうやって行うのか(手段)	お家さんと直接会って(近所集まる) 声を掛けながら歩いて積極的にがんばる 一度あったら声で声を呼ぶ(集まる)
What? どういう結果が得られるのか	利益が得られる 得意に思われることのようにお家さんと話すのが、言葉とはどのようなものなのか知ることが出来る 地域を盛り上げることが出来る
Why? なぜやるのか(目的)	社会に貢献することのため 地域を盛り上げるため

【10月3日】

⑦アンケートの結果、自分が所属する部署が決まりました。マーケティング部、動画広報部、デザイン部、中広告部、販売部。各クラス、部署ごとに活動が始まりました。探究を進める上で大事な「探究課題」の設定に取り組む部署、他の部署からの情報を待つので、先に動画の作り方やデザインのポイントを調べる部署。担当の先生方もプロではありません。こうなったら、外部の「プロ」にアドバイスを求めるのが早いですね。



7月7日(金)に行われた「働く大人の話を聞く会」では、対面・オンライン 総勢43名の地域の方々や先輩にお話を聞くことができました。あのおときお世話になった方々もプロ中のプロ。再度、お会いするチャンスが来るかもしれません。

【10月16日】

⑧「かりんとう販売」に向けた味の選定のため、本日は(株)旭製菓様よりご提供いただいた10種類のかりんとうの試食を行いました。「子どもが好きそう!」「これはおいしいちゃんおばあちゃん向けかな?」「本当にきんぴらごぼうの味がする!」などの感想から、各クラスのコンセプトに見合う3種類を選びました。マーケティング部の集計結果を楽しみに待ちます。





【10月19日】

⑨校外学習で都内巡りに行ってきました。歴史や観光地の工夫を学びながらも、「かりんとう販売につながる情報収集」を行いました。全国各地のアンテナショップや東京の銘菓のお店を訪ねながら、各お店の工夫を教えていただいたり、自分たちが考えている活動を聞いていただいたりしました。



【10月25日】

⑩自分たちが作ろうとしているポスターやPR動画は本当に地域の方（消費者）の心に響くものになっているのか、独りよがりの単なる作品制作に終わっていないか、かりんとうの売り上げにつながるのか……。直接聞いてみるしかない！この日は、人の流れの確認にとどまりましたがマーケティング部が本格的に動き出しました。

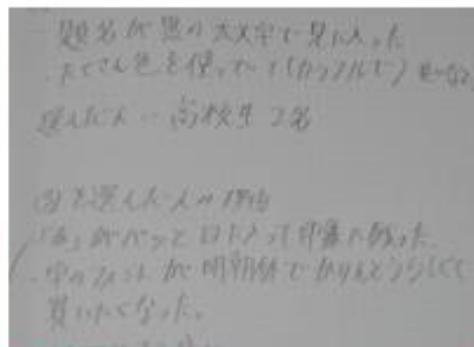


【10月27日】

⑪（左）ポスター部は購買層を考えながらデザインを進めています。

（中）動画広報部は、それぞれの特技（ラップ、歌唱など）も活かそうと奮闘しています。

（右）部署ごとの活動ですが、クラスの枠を超えて情報交換が行われています。話し合う姿もあちらこちらで見られます。



【10月30日】

⑫「この週末、習い事の場所で8人だけですけど、大人や高校生にアンケートをしてみたんです。」

マーケティング部の一人が持ってきてくれました。

「ポスター部が作ってくれた作品を、一般の方にはどう伝わるのかわりたくなっちゃって・・・」

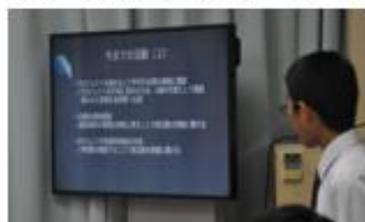
さらに、それらを選んだ理由や改善点など詳細にインタビューもしてくれました。

「8人だけ」とは言っていますが、この一歩はかなり大きな一歩になることは間違いなしです。

※11月10日（金）には、（株）加製菓様よりお二人をお招きして、これまでの成果物の発表を各クラスで行い、アドバイスをいただきます。また、地域の方や保護者の方々にもご来校いただき、途中経過の報告を見ていただきます。

【11月10日】

⑧かりんとう販売プロジェクトの中間発表を行いました。当初、(株)旭製菓様よりお二方をお招きして行う予定でしたが、地域協働活動コーディネーターの小野様のお力添えにより、地域の方々や保護者の方もお招きしました。各クラスで部署ごとの取組の紹介、探究課題、アンケート結果や科学的な裏付けをもとにした成果物、今後の活動などを発表しました。

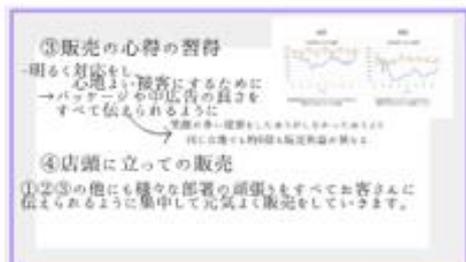


**いただいたご意見、アドバイスなど**

- アンケートを作り、さまざまにリサーチをされていてよかった。
- 年齢層に分けたポスター作りは、買う人のことをしっかりと考えていてよかった。
- 安心する色を使っていると聞いて感動した。
- 他部署の頑張りを伝えたいという気持ち良かった。

**課題**

- BGMが大きすぎたので、ナレーションが聞き取りにくかった。
- 「牛乳と合う」のところは、「\*」ではなく「+」のほうが良いのでは？
- 台紙の色が文字の色と似ているので見にくい。



中には、聞いていただく方の目線に立ち、ゆっくり聞いてもらえるように座席の工夫をしたクラスや、アンケートの取り方も工夫して行ったクラスもありました。

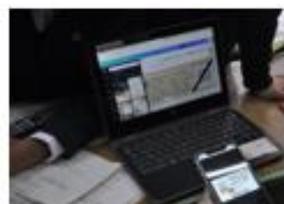
**地域・保護者の方々からの感想**

- 席が用意されていてよかった。
- 消しゴムやペンなどがあって、気温が素晴らしい。
- アンケート用紙が短時間で書くには最適で良かった。
- 全部署、声が大きくて聞きやすく、一生懸命で「見たい!」「聞きたい!」という気持ちになった。(本当に素晴らしいです!)

【11月13日】

⑩ 前日の中間発表でいただいた(株)旭製菓様からのアドバイス、地域の方々や保護者の方からいただいたアンケートの結果をもとに、各部署が改善のための話し合いを行いました。より一層自主的に活動に向かう姿勢が見られました。

次は、11月19日(日)に行われる「ほくっとまつり」、12月2日(土)に行われる「東小冬まつり」での展示、予約販売の受付へと展開していきます。



ところで、あるクラスのアンケートの結果です。

**「Q 1袋50円×3種類で1,000円のかりんとう、買いたいと思いましたか？」**

**はい・・・10人    どちらでもない・・・5人  
いいえ・・・1人**

このリアルな反応、生徒たちはどう受け止めたでしょうか。そして、今後の展開にどう生かされていくのでしょうか。楽しみです。

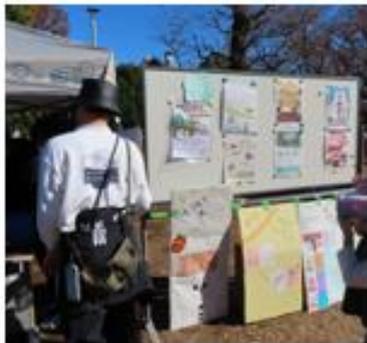


【11月17日】

⑩19日の『ほくっとまつり』での予約販売に向けて、中広告やパッケージの調査に出掛けています。はじめは、なかなか声をかけるのに抵抗があった生徒も、町のみなさまの優しい対応のおかげで積極的に活動できるようになっていきました。結果を分析し、各クラスのデザインが決定されていきます。

【11月19日】

北東部地域協カネットワーク主催『ほくっとまつり』に「かりんとう販売プロジェクト」のブースを出展させていただきました。この日は、朝早くから販売部の精鋭が集い、ホワイトボードの運び出しやチラシ、予約票の準備などを行いました。各部署の作成した動画やポスターもお披露目とあって、販売部の生徒たちが意気に掲示など進めてくれました。先行予約、何件集まるのでしょうか。



多くの方々に予約をしていただくことができました。延べ102件。中には全クラスの商品の予約をしていただいた方も。先日の中間発表で来ていただいた方も「発表のときの気遣いが素晴らしくて〇組のかりんとうを絶対買おうと思ってきたのよ」とお話をしてくださいました。妖精やラジオの取材と、さまざまなお客様に来ていただきました。ありがとうございました。さらに商品のPRを進めていきます。



こちらは、ボランティアでおまつりに参加した生徒たちです。コミュニティスクールとして、地域の方々との協働が確実に増えていることを実感します。地域の皆様、今後ともよろしくお願いたします。



【12月2日】

東小冬まつりにて、かりんとう販売プロジェクトPRブースを出展させていただきました。PR活動がメインではありましたが、小学生とカードゲームを通して交流を深めることもできました。販売部の生徒だけでなく、準備の段階ではバドミントン部のみなさんもシート敷きや物品の運び出しなどで活躍しました。



【12月8日】

⑩ 2月9日（火）の販売会に向け、各クラスで話し合いや確認が行われました。「何かおまけをつけるのはいかが」「おみくじなんかいいかも」。いろいろなアイデアが出る中で、水飲み場にはバケツをのぞき込むメンバーがいました。「ひまわりの種を付けるのもいいんじゃないかと思って」。自分たちで調べ、水への浮き沈みで種子を選別しているところでした。2月9日（火）は新入生保護者説明会の日でもあります。そこを生徒たちはどう考えていくか。次の探究のスパイラルが回り始めたようです。

【12月18日】

⑪ 今学期の活動の振り返りを行いました。自分の部署の探究課題にどのように取組んだのか。3学期はいよいよ販売日を迎えます。冬休み期間も、やれることを積極的に行っていきましょう。

ここまでの取り組みからの感想を紹介します。

- 思っていたよりも考えることが多く、どの観点を重要視するべきかを考えるのが難しく、大変でした。しかし、その考えが思惑通りにいったときに大きな達成感があって、前向きに取り組むことができたと思います。
- 部署ごとに分かれて、自分の得意なことに一生懸命取り組めてよかったです。楽しかったです。
- 同じ部署のメンバーで協力して進めることが出来た。はじめから決まっている情報も少なく、情報共有があまりない状態でのスタートだったが、そんな中でもなんとか進めることが出来てよかった。授業の合計回数や締切などが最初は分からなかったので見通しをもった作業が出来なかった。
- 販売をするには狙いを決めるなど、たくさんの事をしなければならなかったから、ものを売る上での大切さや大変さが知れた。
- クラスのみんなと協力してかりんとうを販売することで、一体感が高まったと思った。
- 実際に学校の外に出て活動すると、話を聞いてもらえなかったりするし大変なこともあったけど、小学生と関わったり積極的に行けるようになったりできるようになったことも多かったなと思います。

【1月末】

いよいよ来週は、各クラスでかりんとうの袋詰め作業が行われます。

販売に向けたポスターや、商品につける特典の準備も急ピッチで進みます。

総合的な学習の時間では、進路についての取り組みなども同時進行で行っているため、クラスごとに放課後の時間などを使って準備をしています。(左：メッセージカード、中：種子の袋詰め、右：ポスター)



【2月2日】

来週の一般販売本番に向けて、かりんとうの袋詰め作業を行いました。商品はもちろんですが、自分たちでデザインしたパッケージに大興奮です。中広告や特典も入れて、紐で縛る作業まで丁寧に行いました。

どんな順で手分けをしたら、清潔な状態でミスなく袋詰めができるのか、これも各クラスで準備が行われていました。職場体験の経験を思い出して生かしたクラスや「食品衛生責任者」のテキストを読んできた生徒もいました。生徒たちが自主的に動いています。



【2月7日】

明後日の一般販売本番に向けて、放課後、販売部の練習を兼ねた事前販売が行われていました。

商品の受け渡しやお金の扱いなど、本番を想定して行うことができました。その結果から、動線の工夫や係の生徒の配置などの反省が出てきました。これをもとに、よりよい形で販売を行います。



- ・お客様がどうしていいのかわからない接客になっている。⇒言葉にして伝える。
- ・商品の受け渡しが遅い。⇒生徒の役割分担をもう一度明確にし、連携をする。

【2月9日】

一般販売当日を迎えました。ここまで、各部署で仕事を進め、地域の方々からのご意見を伺いながらやってきました。ご予約いただいた方々に間違いなく商品をお渡しすることができるのか、一般販売で商品売り切ることができるのか。

特に、店頭立つ販売部のメンバーは、各部署の想いを背負って呼び込みにも力が入ります。



#### 【一般販売を終えて】

今回の販売に合わせて、ご購入いただいたお客様にアンケートにご協力いただきました。(以下、感想抜粋)

○ものを作る、売る、買う、使う。消費者側ではなく生産者側の気持ちを知ることができたからこそ、わが子を含め、かりんとうを通じて、物を大切にできる気持ちが少しでも持てたのであればよかったです。

○わが子の様子を見てみると準備時間が足りないようでした。とても良い企画だと思うので、じっくり時間をかけてさらに良い経験ができればよいと思います。

○社会勉強の一環としても、地域おこしとしても、とても良い取り組みだと思います。

○とても良い企画だと思います。地元の中学生と企業が一緒になって一つのことをやる、というのはとても面白いし、もっと広がってほしいなあと思います。そのスタートとしてこの企画を行ったのは、地域や教育にとって大きな意味があると思います。また、クラスごとに異なった内容をつくれたのが良かったと思います。

○子どもたちが実際に自分たちで企画販売する経験は、机上では学べないことをたくさん経験できて良かったと思います。また、今回の経験が何か自分の将来、進路にプラスになってくれればよいと思います。

この他にも、各クラスで作成したポスターや動画による広報活動や販売方法などについても貴重なご意見をいただいております。いただいたデータを分析することで、各部署で作成した探究課題にどれだけ迫ることができたのか、しっかりと振り返りたいと考えています。